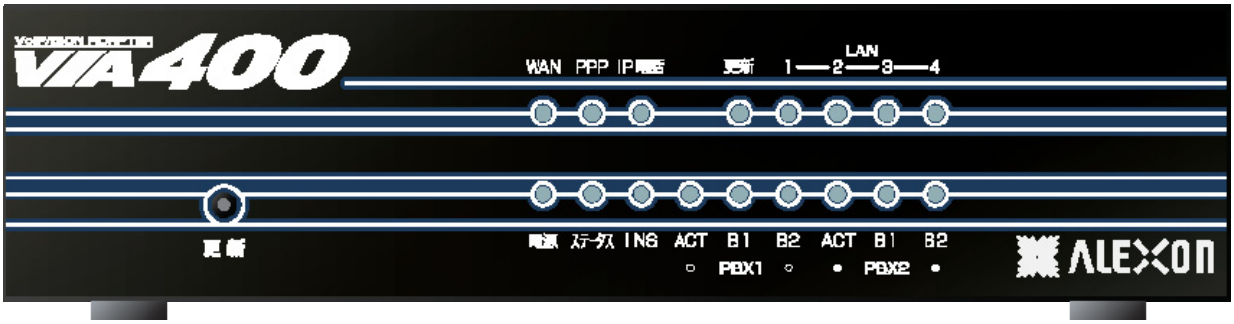
# VIA400

## 管理者モード説明書




ALEXON

# 目　次


１ 概　要 ..... １

２ 詳細設定するには ..... ２

2.1 WEB 設定を使用する ..... 2
2.2 VoIP 電話サービスの設定 ..... 3
2.2.1 ＷＡＮの設定（固定 IP アドレス） ..... 3
2.3 VoIP 電話の詳細設定 ..... 5
2.3.1 回線選択テーブルの設定 ..... ６
2.3.1.1 プリフィックスの設定 ..... ６
2.3.1.2 回線選択テーブルへ追加 ..... ７
2.3.1.3 回線選択テーブルの削除 ..... ７
2.3.2 QoS の設定 ..... ８
2.3.3 音量の調整 ..... ９
2.4 高度な設定 ..... １０
2.4.1 WEB 設定パスワードの変更 ..... １０
2.4.2 時刻の設定（SNTP クライアント） ..... １１
2.4.3 IP フィルターの設定 ..... １３
2.4.3.1 IP フィルターの追加 ..... １４
2.4.3.2 IP フィルターの削除 ..... １５
2.4.3.3 IP フィルターの編集 ..... １６
2.4.3.4 IP フィルターのコピー ..... １７
2.4.3.5 IP フィルタールールの順位を下げる ..... １８
2.4.3.6 IP フィルターの順位を上げる ..... １９
2.4.4 LAN の設定 ..... ２０
2.4.5 DHCP サーバーの設定 ..... ２２
2.4.6 スタティックルートの設定 ..... ２３
2.4.7 NAT の設定（IP マスカレード・ポートマッピング） ..... ２４
2.5 メンテナンス ..... ２６
2.5.1 システムログ ..... ２６
2.5.2 Ping のテスト ..... ２７
2.5.3 オートダウンロード ..... ２８
2.5.4 装置の再起動 ..... ２９
2.5.5 設定の初期化 ..... ３０
2.5.6 設定ファイルの書き込み／取得 ..... ３１
2.5.6.1 設定ファイルの書き込み ..... ３２
2.5.6.2 設定ファイルの取得 ..... ３３

# 1 概　要

本書は VIA400 専用設置説明書です。取扱説明書に記載していない詳細な設定について記載しています。取扱説明書と合わせてご利用ください。

**ご注意**

- この説明書に記載している専門用語を充分ご理解の上でご利用下さい。不用意に設定されますと、**設定内容が不適切な場合、通信不能や設定不能になる事があります。**
- 新たな設定で、通信不能になった場合は、設定を元に戻して設定の誤りをお調べください。
- 新たな設定で、設定不能になった場合は、本機背面の「初期化スイッチ」を押しながら電源を入れて、全設定を初期化してから改めて設定をやり直してください。
- IP 電話で通話中にデータ通信を行うと、IP 電話の音声品質が保てなくなることが有ります。その場合は、「2.3.2 QoS の設定」をご参照ください。
- インターネットに接続できない場合、右上隅のヘルプ機能（弊社最新ファームウェアに合わせた設定情報）は動作しません
- 通話中に、本機の設定変更は行わないようにしてください。正常な通話が出来なくなります。

## 2　詳細設定するには

本機で詳細な設定内容を変更するにはパソコンからInternet Explorer（5.0以降）を使って「管理者用のログイン」で設定する必要があります。

設定での入力は半角で大文字・小文字をご確認の上　正しく入力を御願いします。

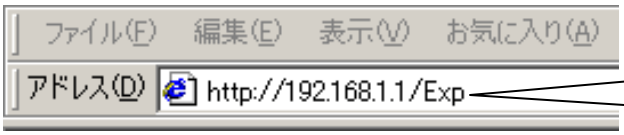
（注意：仕様の変更により説明書のWeb画面と多少異なる事がございます。）

### 2.1 Web設定を使用する

1．パソコンよりInternet Explorer（５.０以降）アイコンをダブルクリックします。

このアイコンをダブルクリックします。

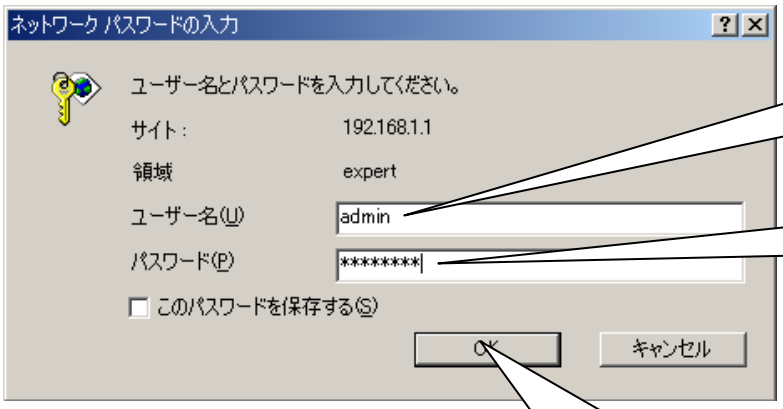
2．URLフィールドに本機のIPアドレス「192.168.1.1/Exp」を入力し、Enterキーを押します。




http://192.168.1.1/Exp
を入力します。

3．ユーザー名とパスワードを入力して、「ＯＫ」ボタンをクリックします。

**ユーザ名　：ａｄｍｉｎ**
**パスワード：ａｄｍｉｎｉｓｔ**




①ユーザー名を
入力します。

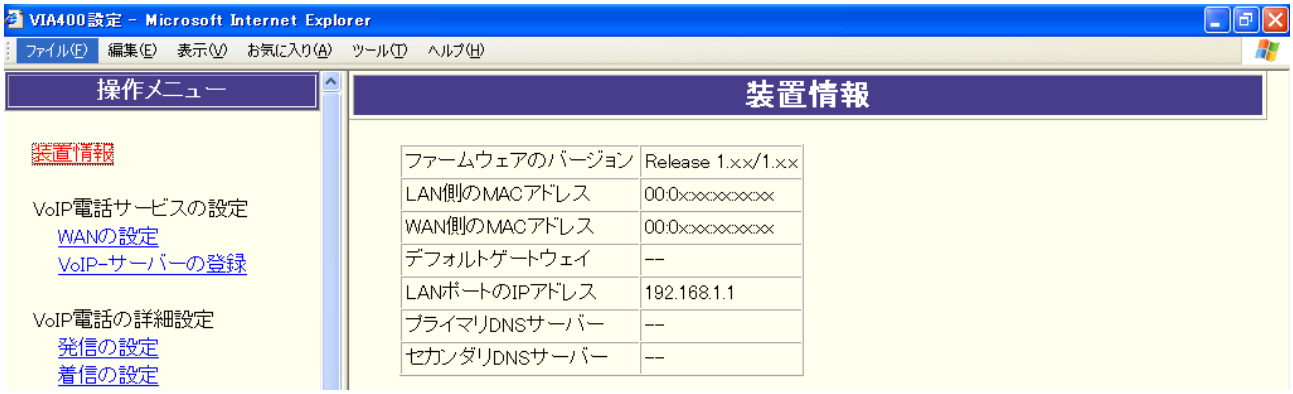
②パスワードを
入力します。

③「ＯＫ」ボタンを
クリックします。

**ワンポイント**

- 上記パスワードは初期値です。運用開始時には安全管理の為にパスワードを変更してください。
- パスワードを変更するには、Web 設定で「VoIP 電話の詳細設定」→「WEB 設定パスワードの変更」→「パスワードの変更」。パスワードは最小 1 文字、最大 15 文字半角英数字です。大文字小文字の区別します。
- ユーザー名は変更できません。

4．正しくユーザー名とパスワードを入力しますと、Web設定画面が表示されます。




## 2.2 VoIP電話サービスの設定

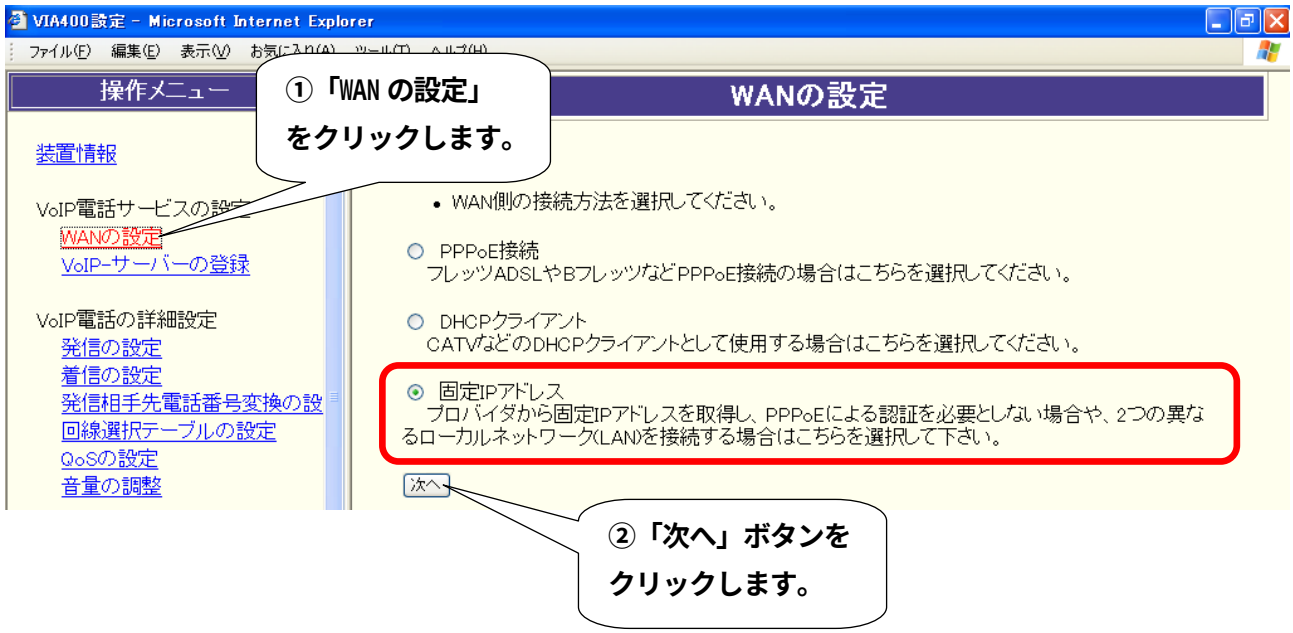
取扱説明書に記載していない設定項目は下記項目があります。

- ＷＡＮの設定（固定 IP アドレス）

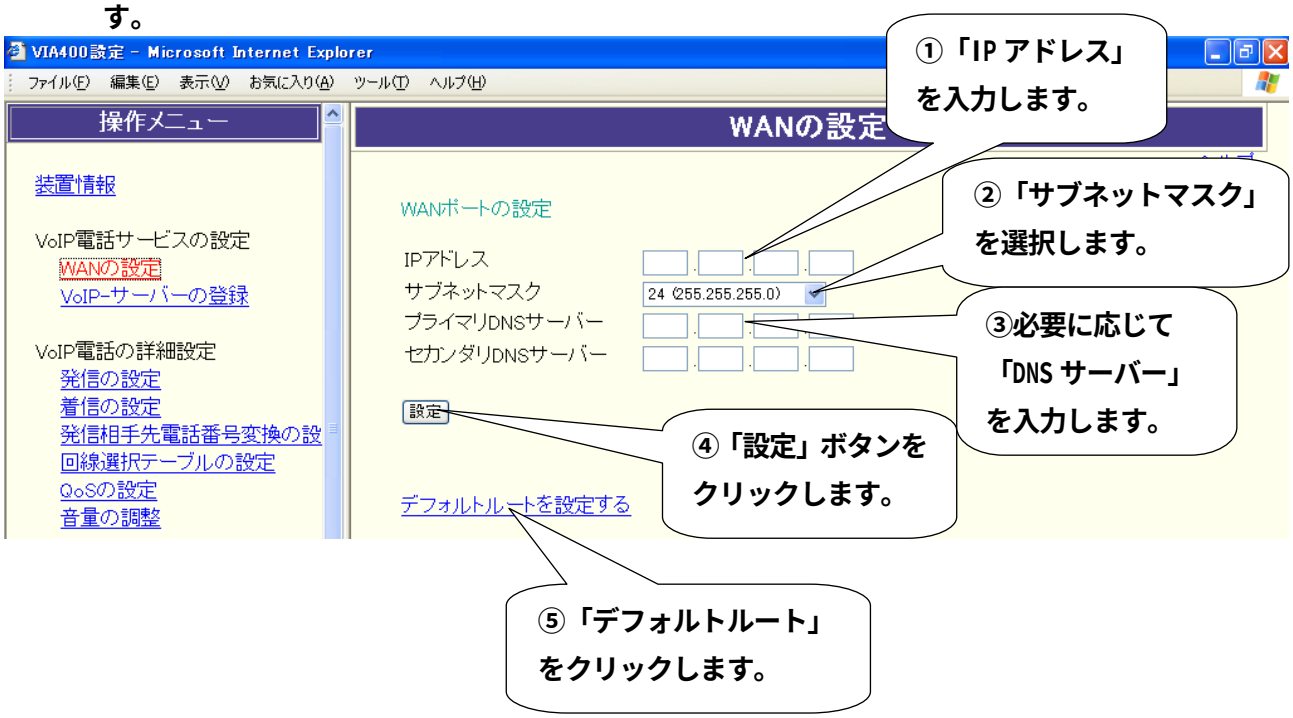
各設定項目の詳細は次項をご参照ください。

### 2.2.1 ＷＡＮの設定（固定 IP アドレス）

1. 固定 IP アドレスで接続する場合、「WAN の設定」の「固定 IP アドレス」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。



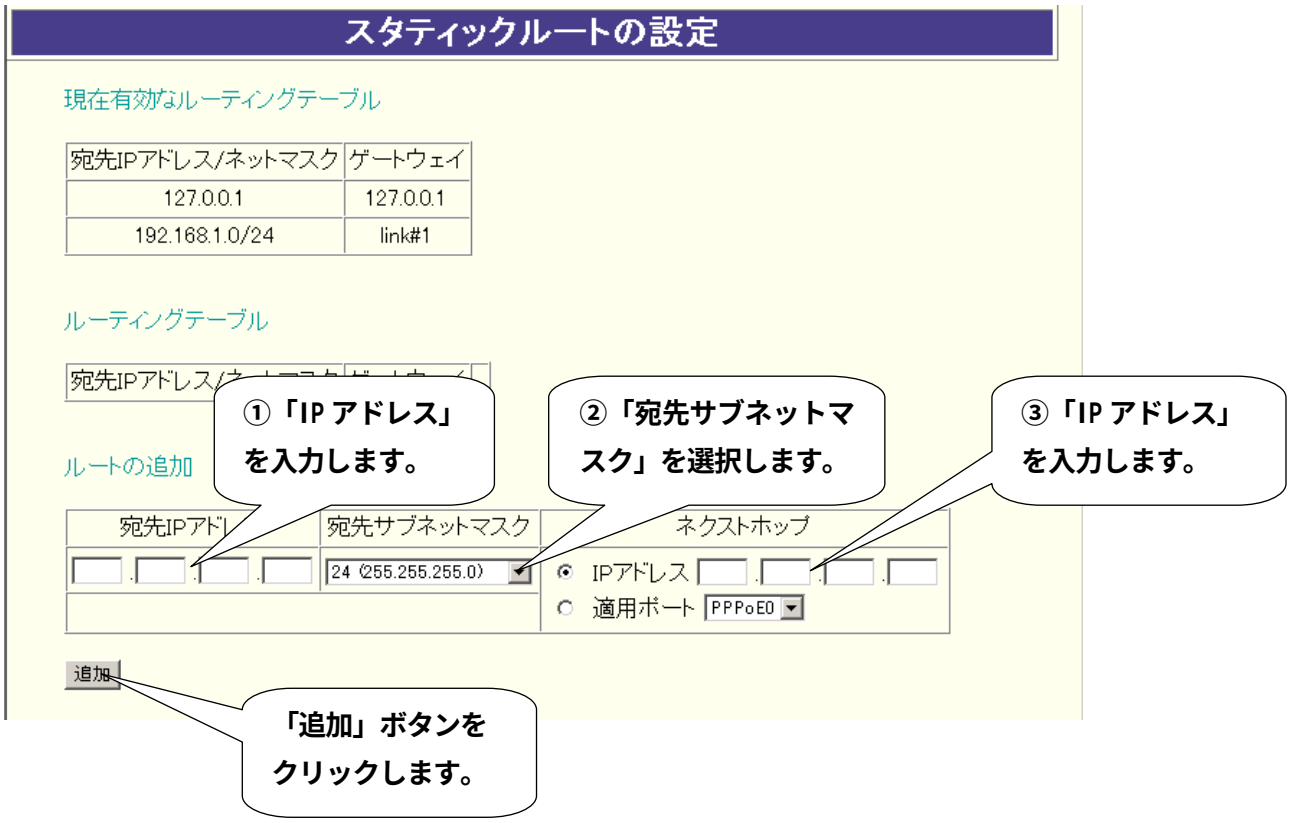
2. 「固定 IP アドレスの設定」画面、以下の設定を行います。
3. 設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。
4. 上位接続先ルータが有れば、「デフォルトルートを設定」をクリックして、固定経路を設定します。




**設定例**

① 「IP アドレス」192.168.10.2（本機の IP アドレス）を入力します。
② 「サブネットマスク」24(255.255.255.0)を選択します。
③ 必要に応じて「DNS サーバー」の IP アドレスを入力します。
④ 「設定」ボタンをクリックします。
⑤ 上位接続先ルータ等が有れば、「デフォルトルートを設定」をクリックして、固定経路を設定します。

5. 「スタティックルートの設定」画面が表示されます。
6. 「スタティックルートの設定」画面で、以下の設定を行います。
7. 「ルートの追加」設定が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。




**設定例**

① ルートの追加で、「宛先 IP アドレス」空欄にします。
② 「宛先サブネットマスク」16(255.255.0.0)を選択します。
③ ネクストホップで、「IP アドレス」ルーター等の IP アドレス 192.168.10.1 を入力します。
④ 「追加」ボタンをクリックします。

## 2.3 VoIP電話の詳細設定

取扱説明書に記載していない設定項目は下記項目があります。

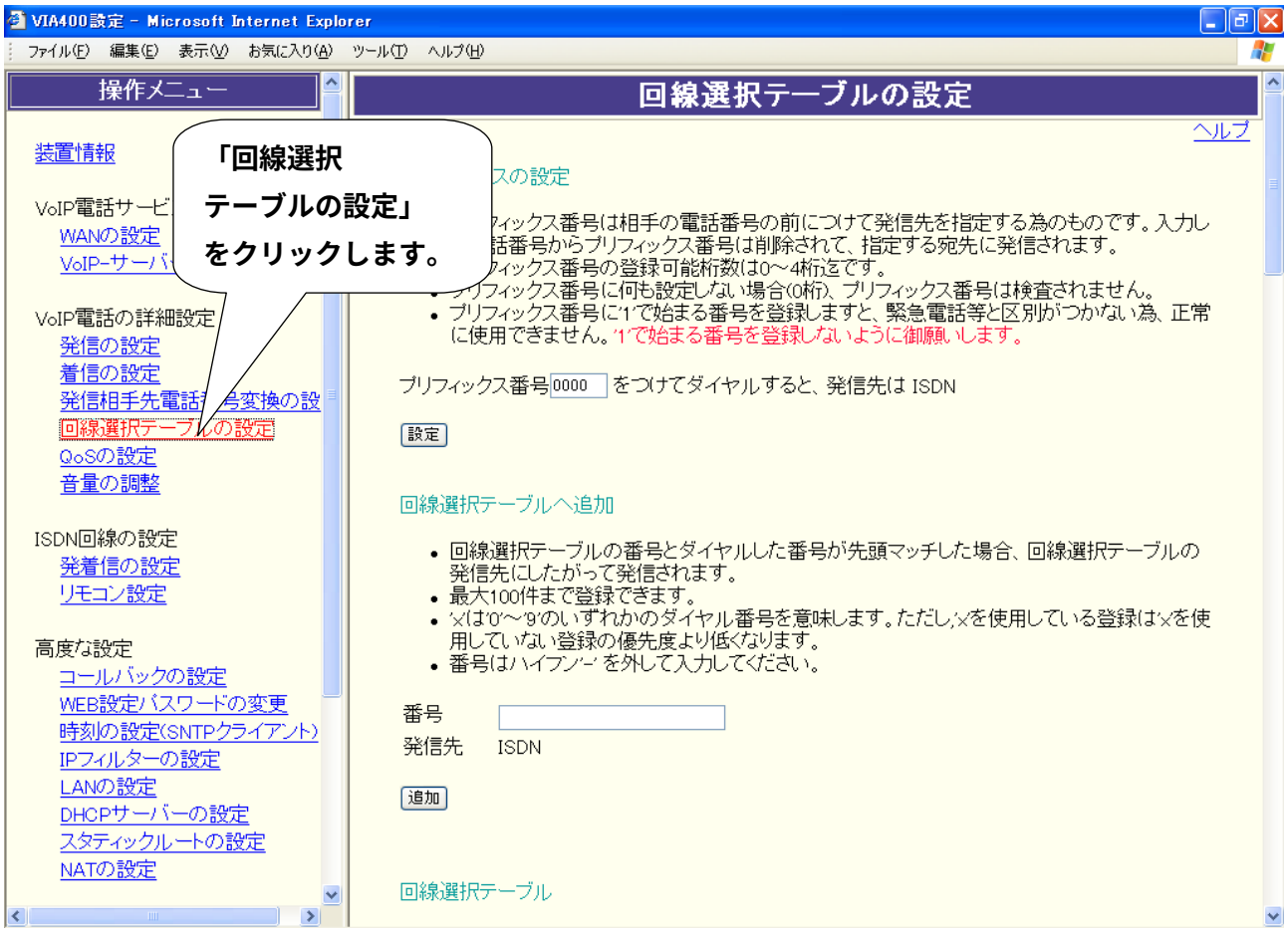
- 回線選択テーブルの設定
- ＱｏＳの設定
- 音量の設定

各設定項目の詳細は次項をご参照ください。

### 2.3.1 回線選択テーブルの設定

「プリフィックスの設定」・「回線選択テーブルへ追加」・「回線選択テーブルの削除」をします。

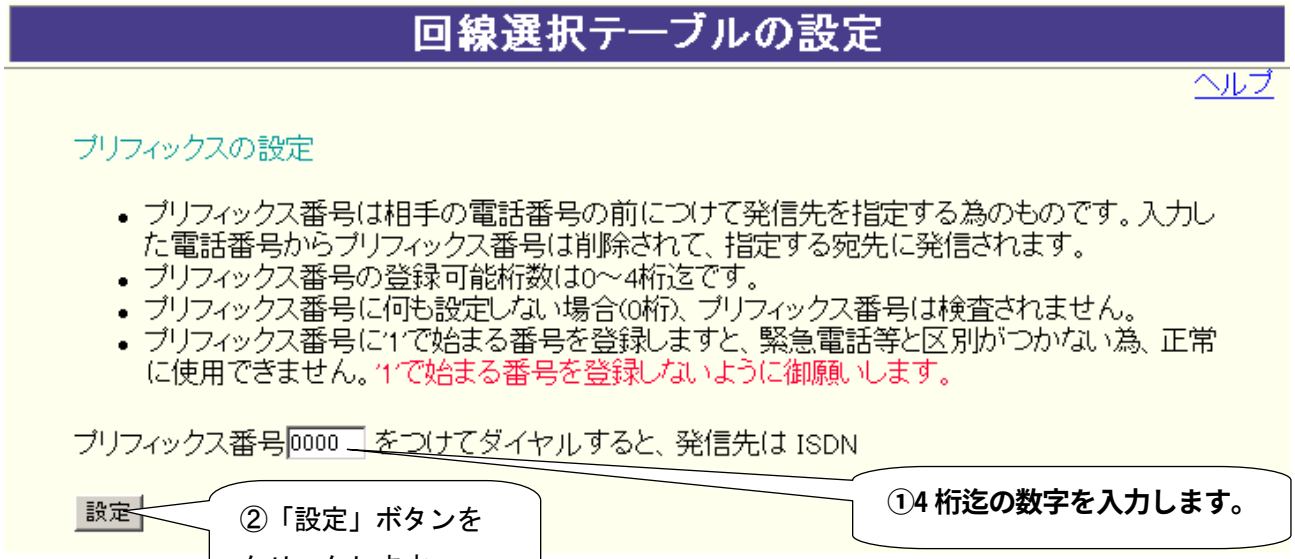
1. 「操作メニュー」から「VoIP 電話の詳細設定」の「回線選択テーブルの設定」をクリックします。
2. 「回線選択テーブルの設定」画面が表示されます。




#### 2.3.1.1 プリフィックスの設定

ISDN 回線へ直接発信するには、電話番号の先頭にプリフィックス番号（初期値：0000）を付加しますが、このプリフィックス番号を設定します。

1. 「プリフィックスの設定」の「プリフィックス番号」を入力します。
2. 入力が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



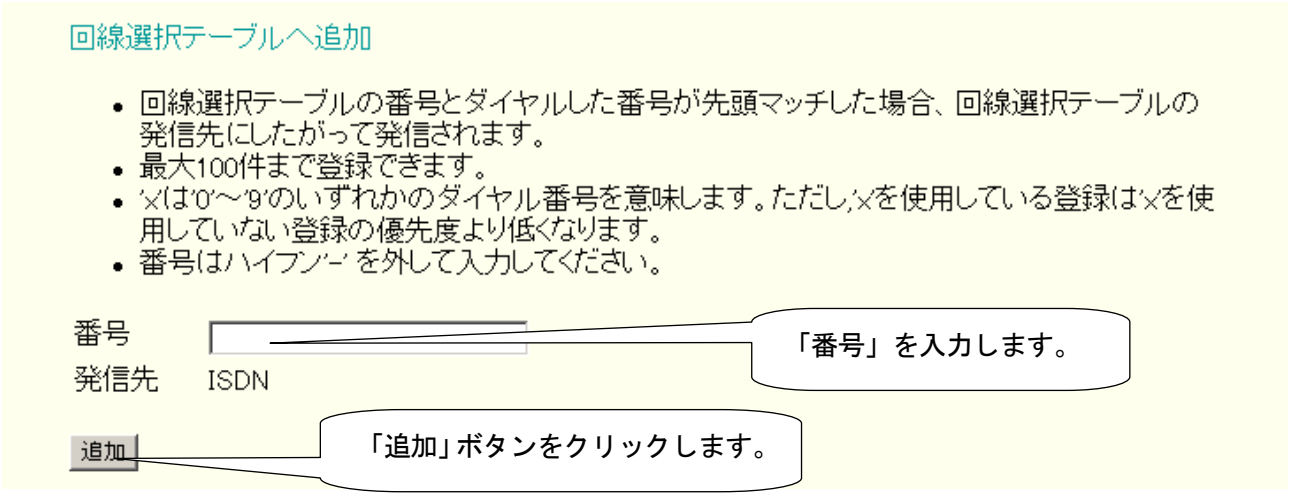
**ご注意**

- **プリフックス番号に‘ 5555 ’を登録しますと正常に動作しません。‘ 5555 ’を登録しないように御願いします。**

#### 2.3.1.2 回線選択テーブルへ追加

**プリフィックス番号を使わずに直接 ISDN 回線へ発信するには、回線選択テーブルへ登録が必要です。（例えば、番号 03 を回線選択テーブルへ追加しますと、03 で始まる電話番号は総て直接 ISDN 回線へ発信します。また、相手先電話番号を追加する場合は市外局番号から登録してください。）**

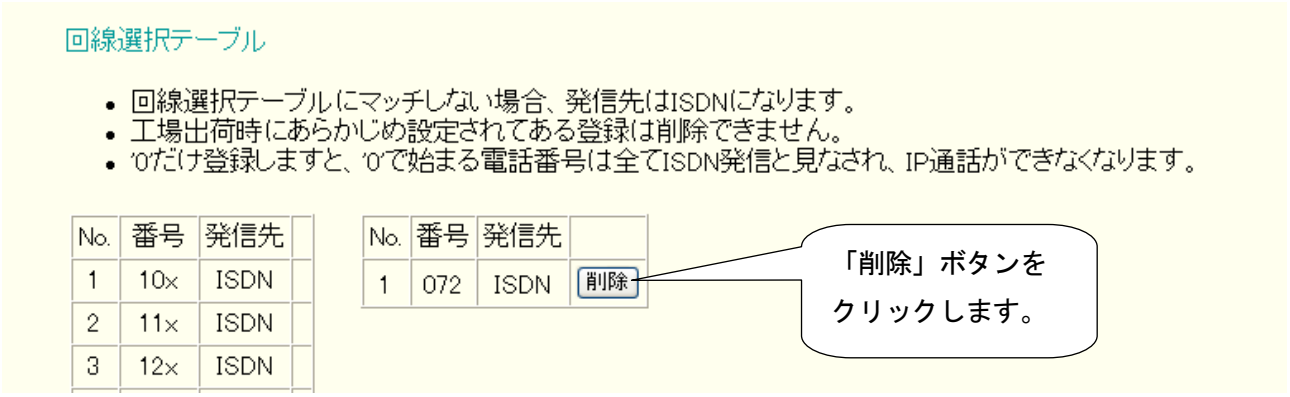
1. **「回線選択テーブルへ追加」の「番号」を入力します。**
2. **入力が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。**




#### 2.3.1.3 回線選択テーブルの削除

**回線選択テーブルへ追加した電話番号を削除できます。**

1. **「回線選択テーブルへ追加」した番号を選択し、「削除」ボタンをクリックします。**

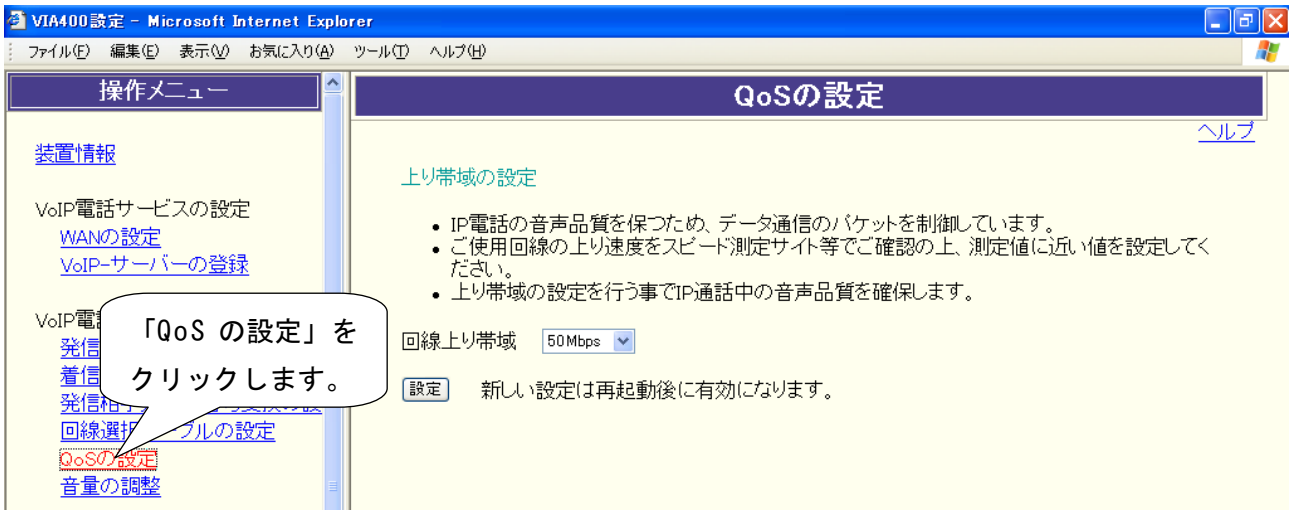


### 2.3.2 QoS の設定

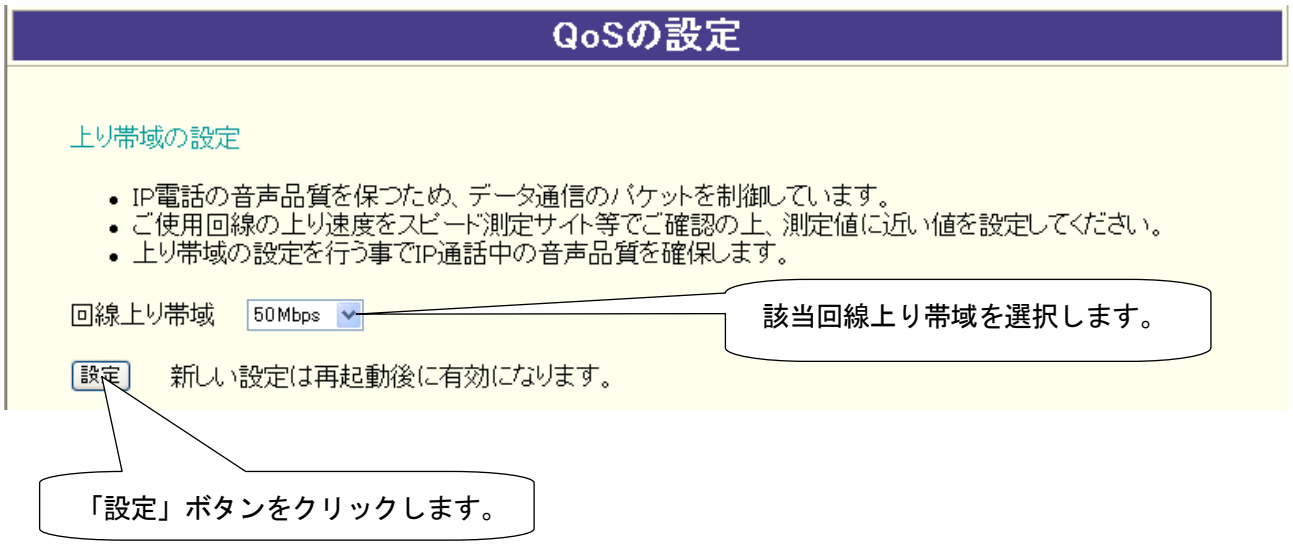
IP 電話の音声品質を保つため、データ通信のパケットを制御します。

上り帯域を適切な設定を行うことによりデータ通信よりも IP 電話の音質を確保します。

1. 「操作メニュー」から「VoIP 電話の詳細設定」の「QoS の設定」をクリックします。
2. 「QoS の設定」画面が表示されます。




3. IP 電話の音声品質を保つ為に、ご使用回線の上り速度をスピード測定サイト等でご確認の上、測定値に近い値を「上り帯域の設定」に設定します。




4. 設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。
5. 「装置の再起動」画面が表示されます。
6. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。

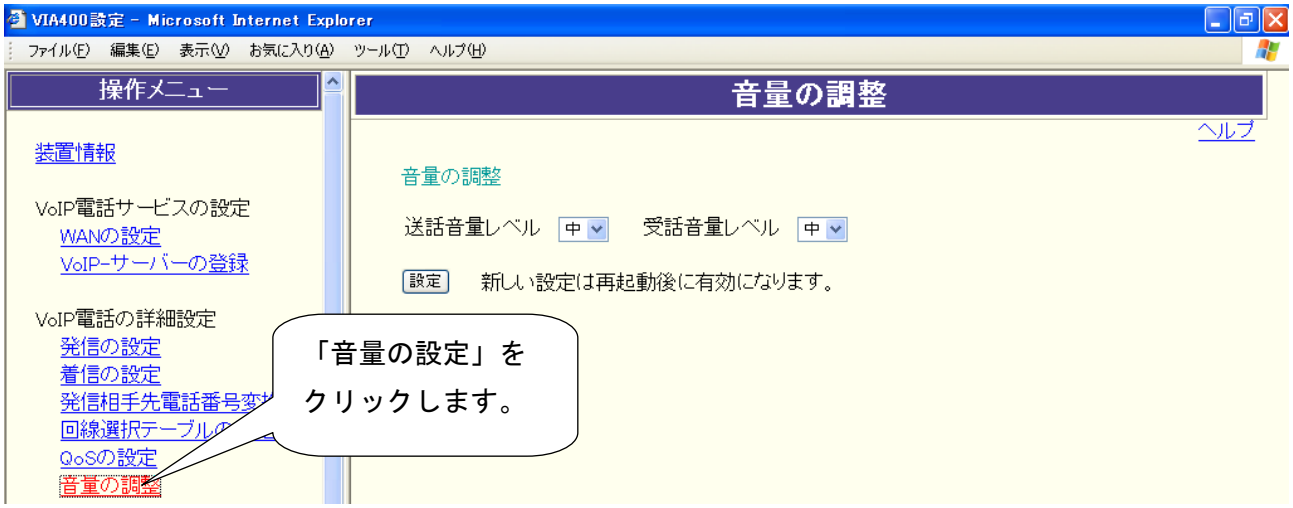
**ご参考**

回線上り帯域は、ご使用回線の上り速度をスピード測定サイト等でご確認の上、250Kbps、400Kbps、600Kbps、800Kbps、1Mbps、3Mbps、5Mbps、10Mbps、30Mbps、50Mbps（初期値）の内で測定値より少し低い値を設定してください。

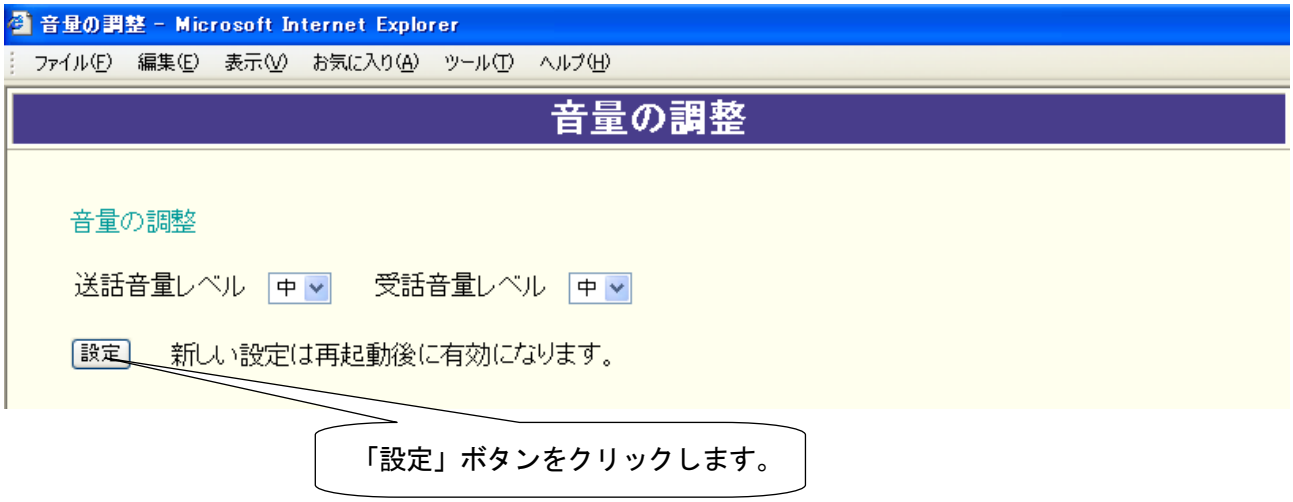
### 2.3.3 音量の調整

IP 電話の音量を調整します。

1. 「操作メニュー」から「VoIP 電話の詳細設定」の「音量の調整」をクリックします。
2. 「音量の調整」画面が表示されます。




3. 「音量の調整」画面で、以下の設定を行います。
4. 「音量の調整」設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。




[ ] が初期値です。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 送話音量レベル | 大 | [中] | 小 |
| 受話音量レベル | 大 | [中] | 小 |

5. 設定を有効にするために再起動してください。

**ご注意**

- 送話音量レベルの変更は、管理者モードで可能です。ユーザーモードでは変更出来ません。

## 2.4 高度な設定

取扱説明書に記載していない設定項目は下記項目があります。

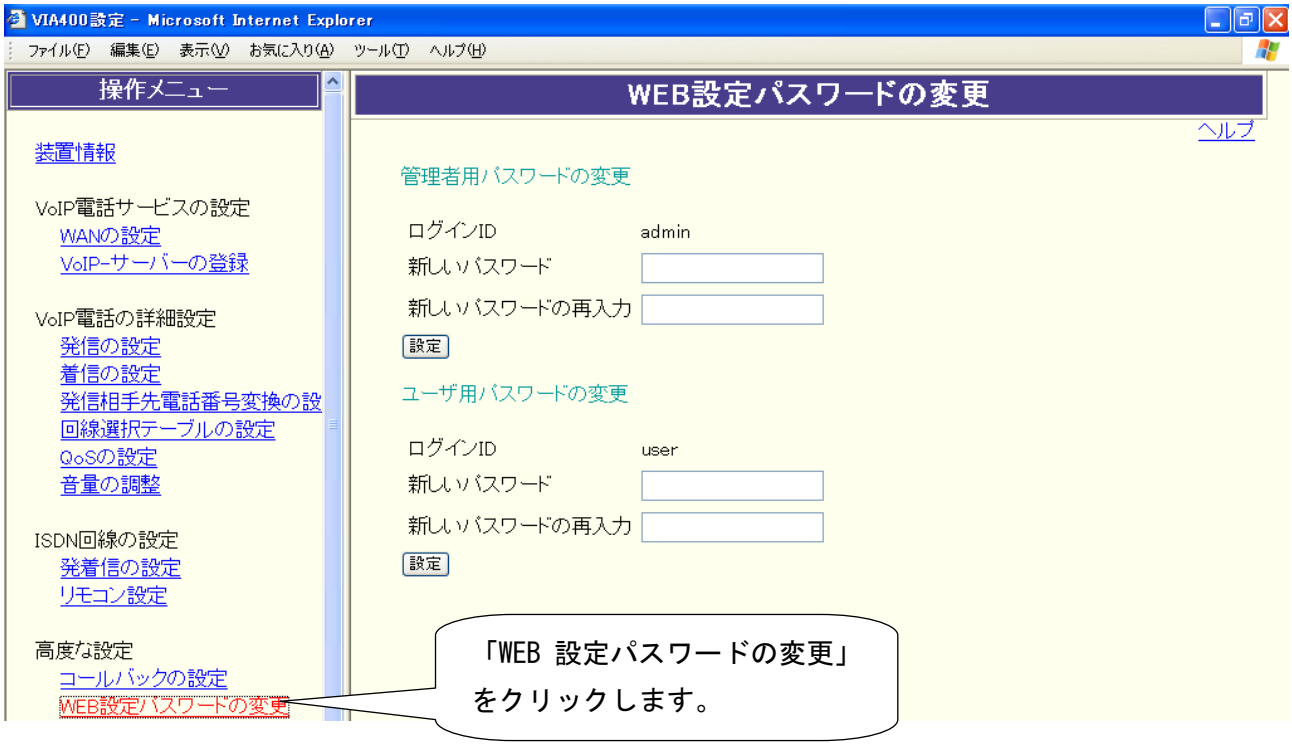
- ＷＥＢ設定パスワードの変更
- 時刻の設定（ＳＮＴＰクライアント）
- ＩＰフィルターの設定
- ＬＡＮの設定
- ＤＨＣＰサーバーの設定
- スタティックルートの設定
- ＮＡＴの設定

各設定項目の詳細は次項をご参照ください。

### 2.4.1 WEB 設定パスワードの変更

パスワードには「管理者用パスワード」と「ユーザー用パスワード」があります。

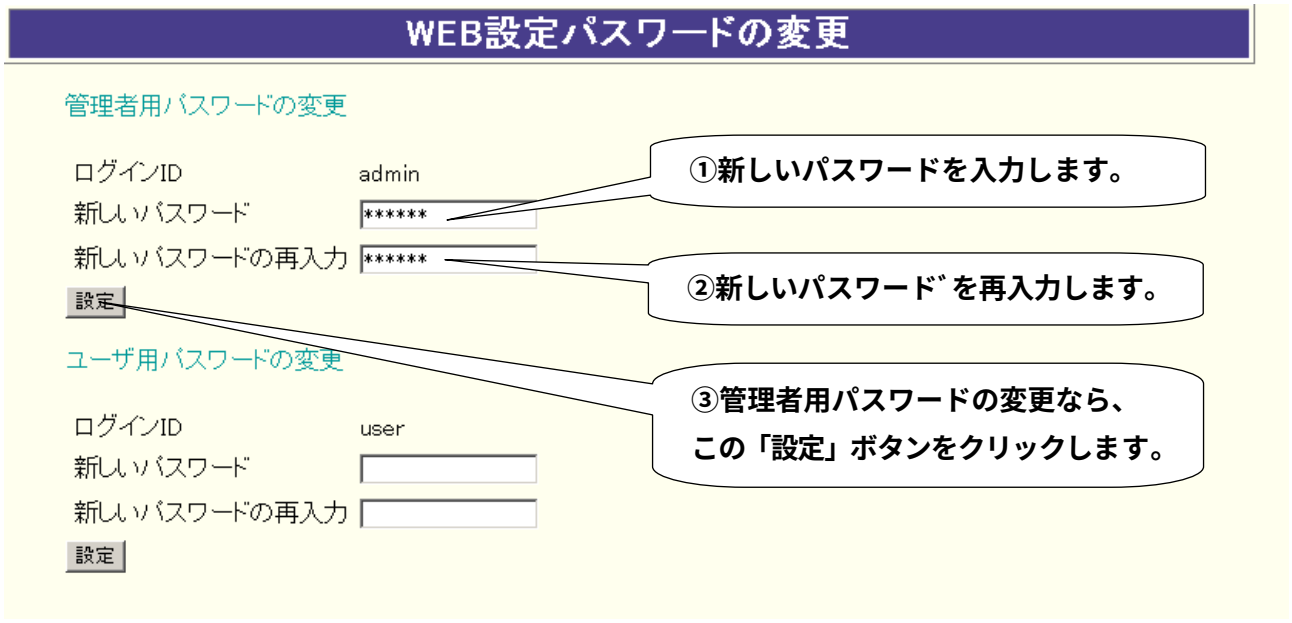
1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「WEB 設定パスワードの変更」をクリックします。
2. 「WEB 設定パスワードの変更」画面が表示されます。




**ご注意**

- 運用開始時には安全管理の為にパスワードを変更してください。
- パスワードは最小 1 文字、最大 15 文字半角英数字です。大文字小文字の区別します。
- 管理者用パスワードの変更は、管理者モードで可能です。ユーザーモードでは変更出来ません。

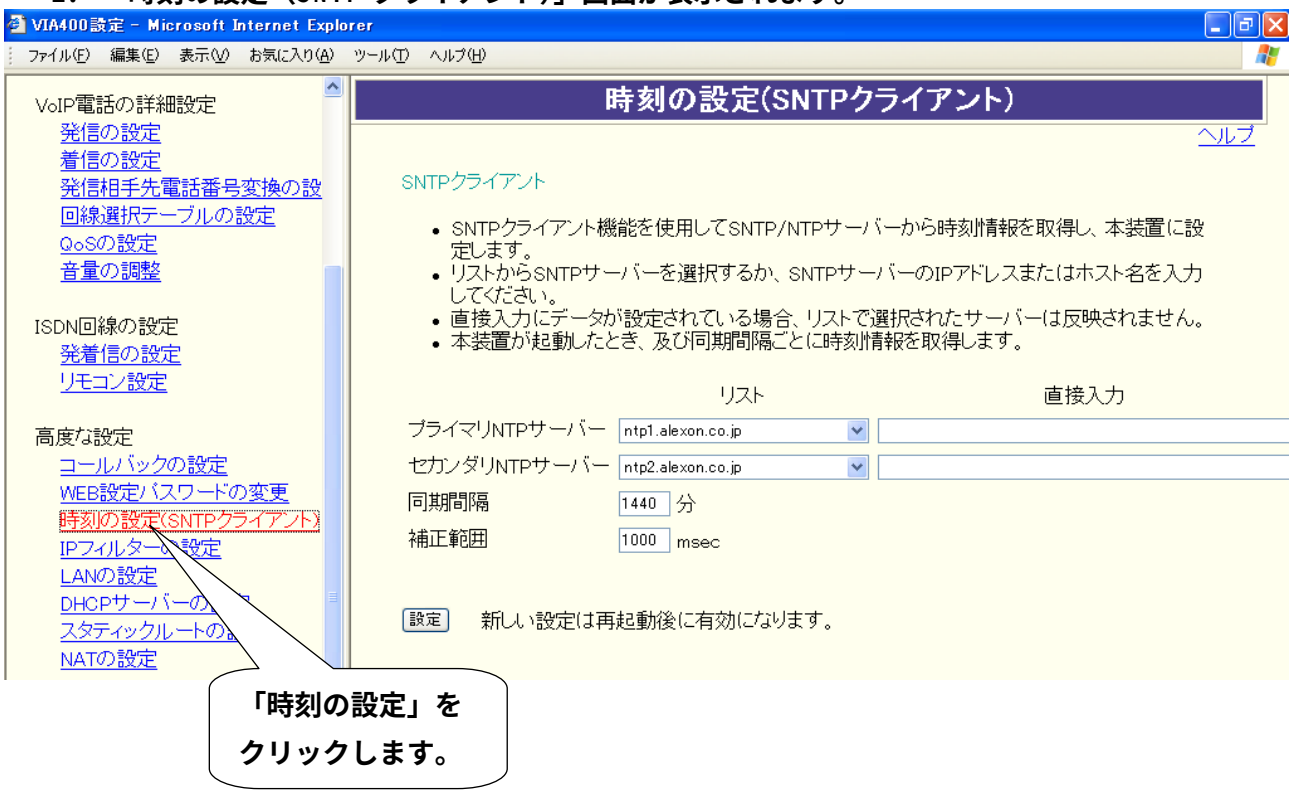
3. 例えば、「管理者用パスワードの変更」の場合、「新しいパスワード」と「新しいパスワードの再入力」に同じパスワードを入力します。入力が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。（パスワードは最小１文字、最大 15 文字半角英数字です。大文字小文字の区別をします。）



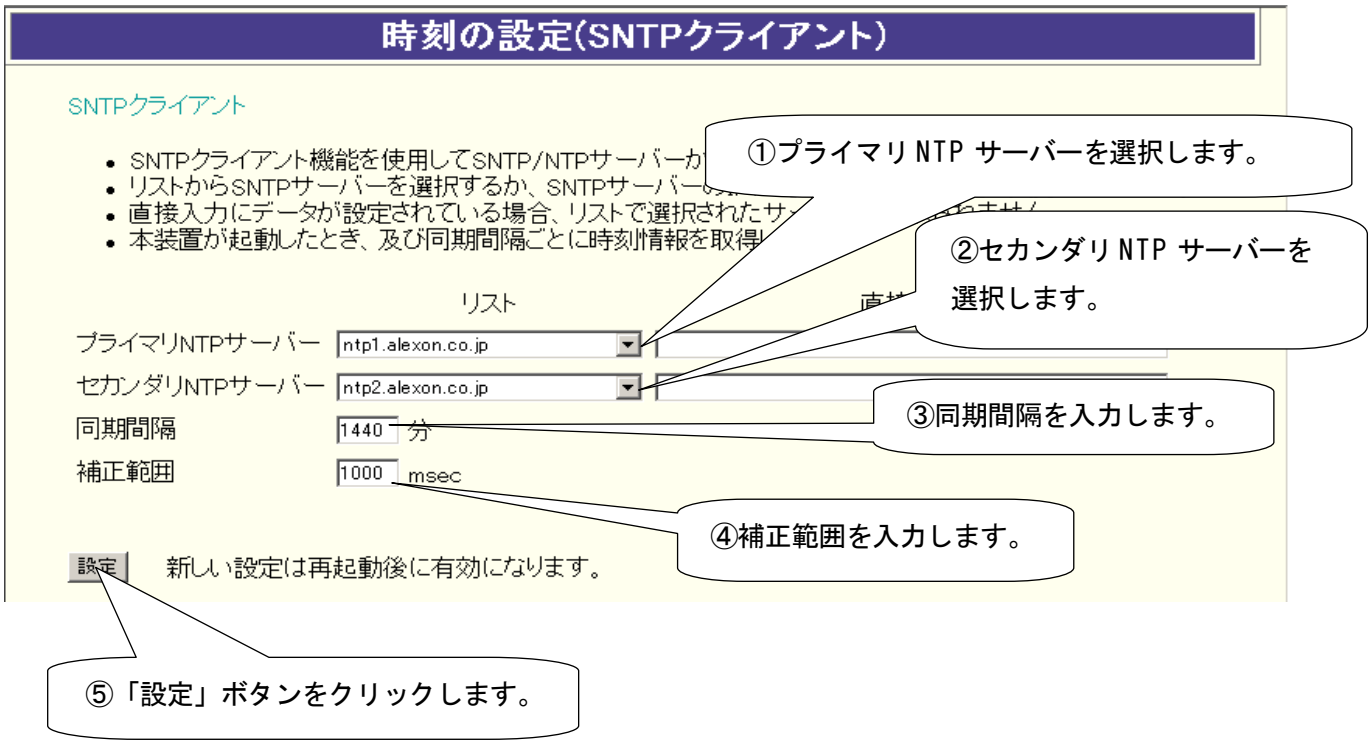

### 2.4.2 時刻の設定（SNTP クライアント）

指定した SNTP/NTP サーバーから定期的　時刻情報を取得します。（工場出荷値で問題なく機能致します。）本機が起動したとき、及び同期間隔ごとに時刻情報を取得します。

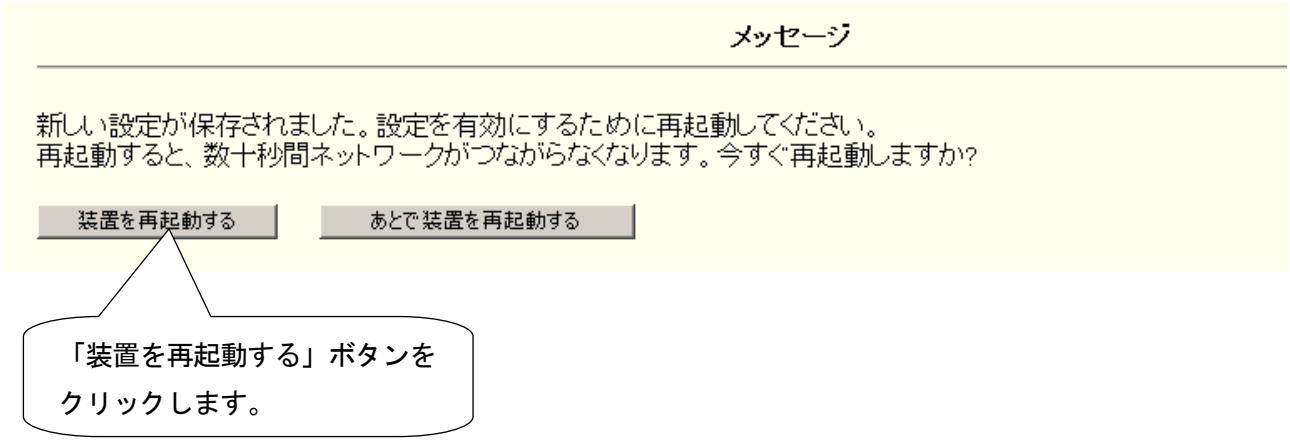
1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「時刻の設定（SNTP クライアント）」をクリックします。
2. 「時刻の設定（SNTP クライアント）」画面が表示されます。



3. 時刻情報を取得するために SNTP/NTP サーバーを指定します。リストから SNTP サーバーを選択するか、SNTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力してください。 直接入力にデータが設定されている場合、リストで選択されたサーバーは反映されません。
4. 設定した同期間隔に時刻情報を取得します。同期間隔を短くすると NTP サーバーとのトラフィックを増やす事になり、負荷が増えて時刻補正が困難になります。適切な時間を設定してください。
5. 設定した補正範囲で時刻を補正します。




6. 設定が完了し、「設定」ボタンをクリックしますと下記メッセージを表示します。
7. 「装置を再起動する」ボタンをクリックしますと設定を有効にします。再起動すると、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。
8. 「あとで装置を再起動する」ボタンをクリックしますと設定は有効にはなりませんが、次の項目の設定が可能です。

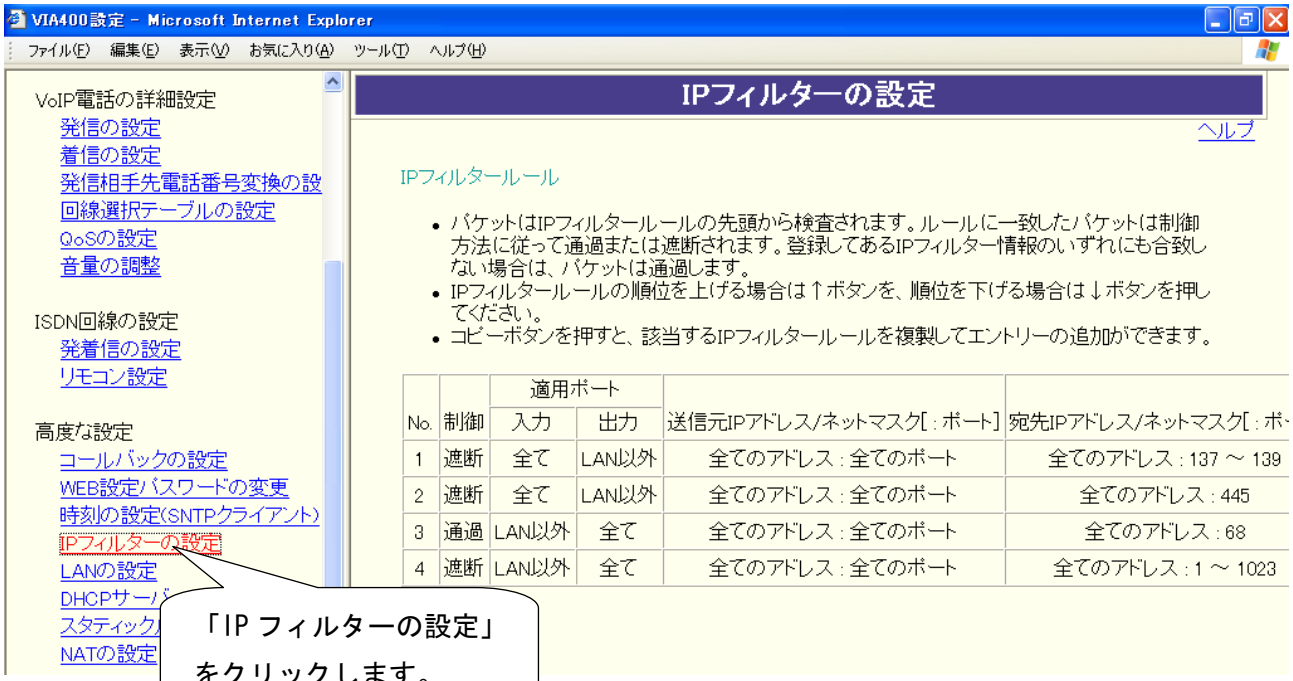


### 2.4.3 IP フィルターの設定

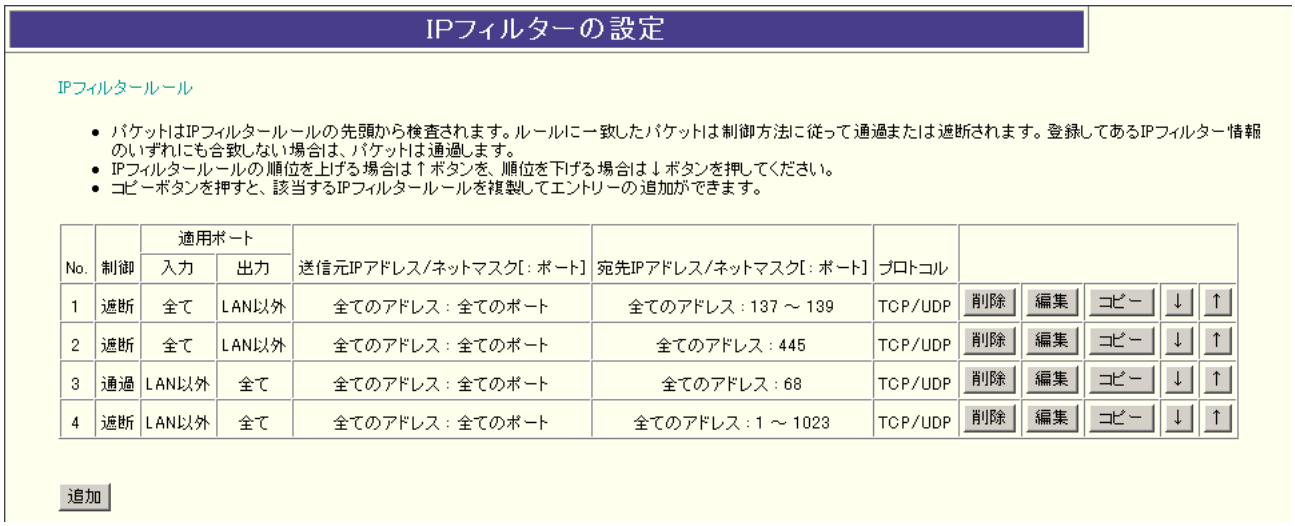
**不用意なトラブルやセキュリティの確保の為に、IP フィルターの設定を行います。**

**フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合がありますのでご注意ください。**

1. **「操作メニュー」から「高度な設定」の「IP フィルターの設定」をクリックします。**
2. **「IP フィルタールール」画面が表示されます。**




3. **「IP フィルタールール」には、「追加」「削除」「編集」「コピー」「↓」「↑」の項目があります。**



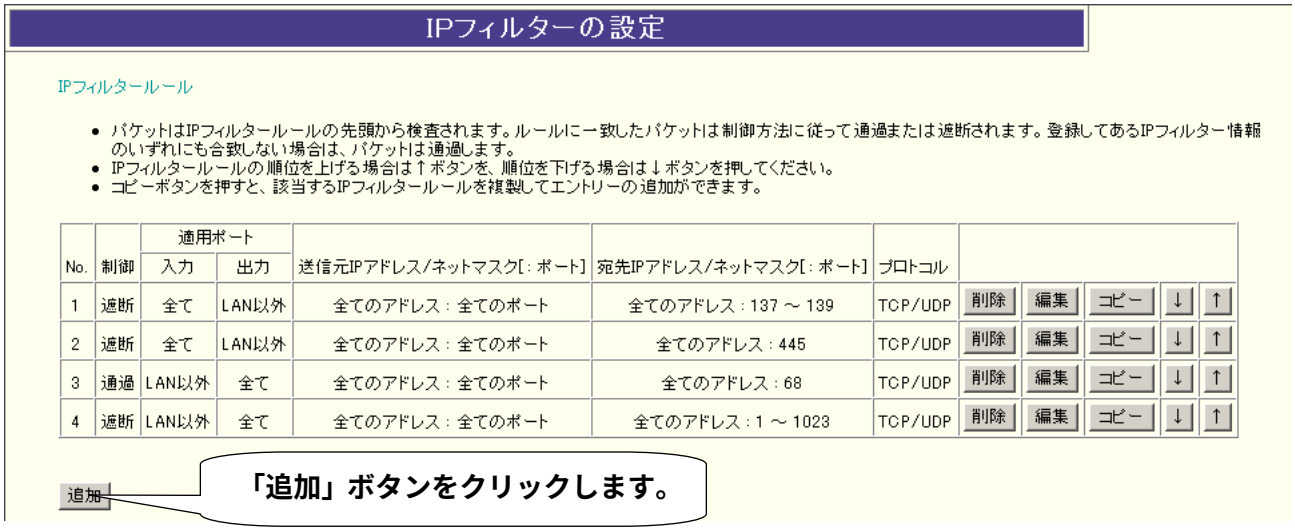

**ご注意**

- **パケットは IP フィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してある IP フィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。**
- **IP フィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。**
- コピーボタンを押すと、該当する IP フィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

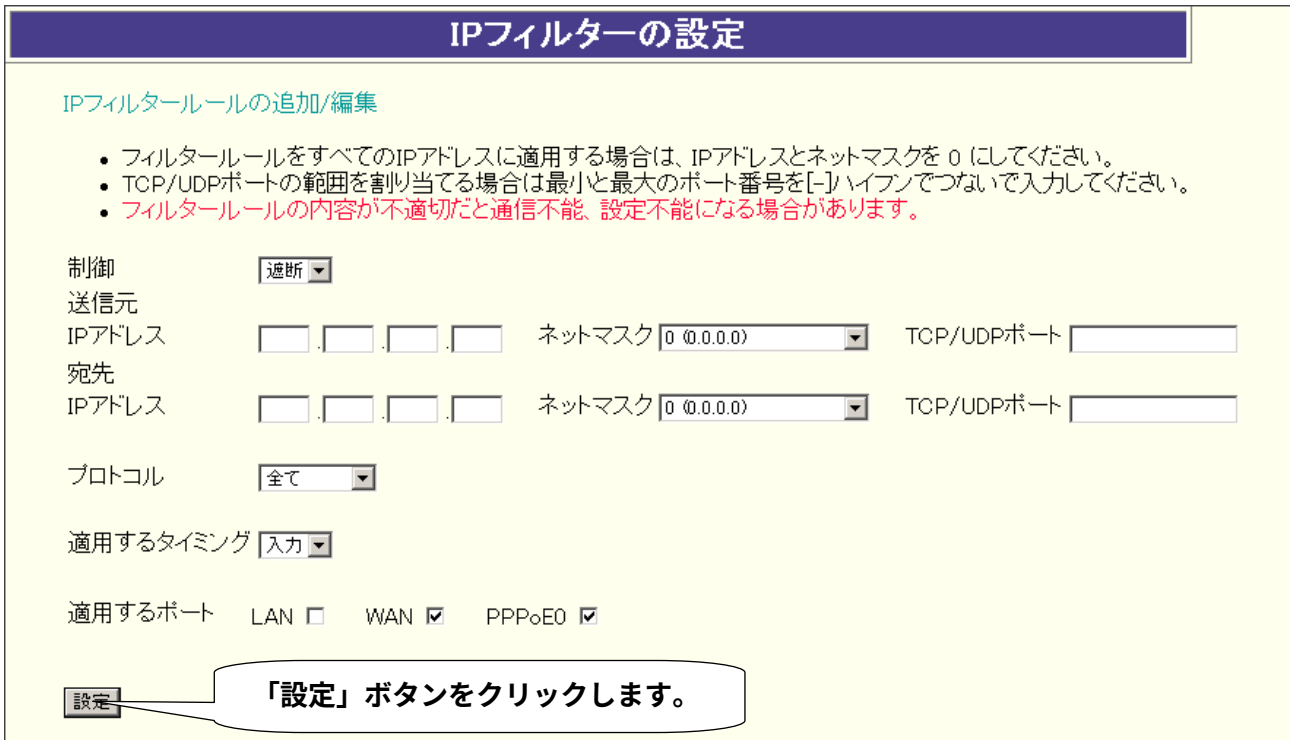
### 2.4.3.1 IP フィルターの追加

新たに、特定の IP パケットを遮断したり通過させるには、IP フィルターの追加をします。

1. 「IP フィルタールール」の「追加」ボタンをクリックします。


IPフィルターの設定
IPフィルタールール
パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるIPフィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。
No. 制御 適用ポート 入力 出力 送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート] 宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート] プロトコル
1 遮断 全て LAN以外 全てのアドレス:全てのポート 全てのアドレス:137 ～ 139 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
2 遮断 全て LAN以外 全てのアドレス:全てのポート 全てのアドレス:445 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
3 通過 LAN以外 全て 全てのアドレス:全てのポート 全てのアドレス:68 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
4 遮断 LAN以外 全て 全てのアドレス:全てのポート 全てのアドレス:1 ～ 1023 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
追加
「追加」ボタンをクリックします。

2. 「IP フィルタールールの追加／編集」画面が表示されます。
3. 「IP フィルタールールの追加／編集」画面で、以下の設定を行います。
4. 登録が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



[ ] が初期値です。

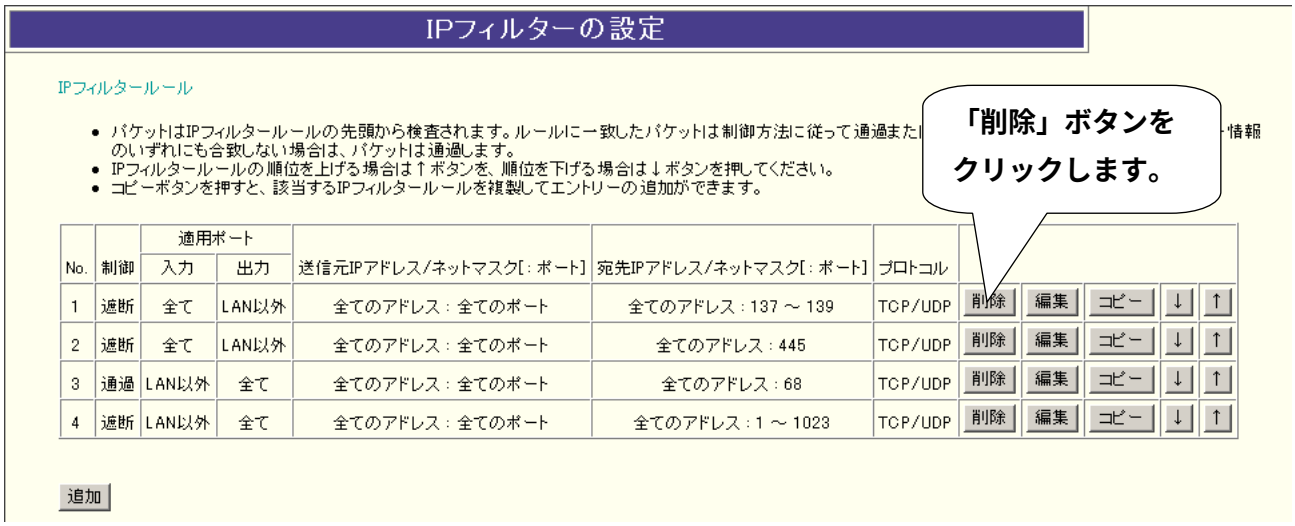
| 項　目 | 設　定 | 内　容 |
|---|---|---|
| 制御 | [遮断] | IP パケットのうちで遮断する IP パケットを登録します。 |
| | 通過 | 特定の IP パケットを通過する IP パケットを登録します。 |
| 送信元 | IP パケット送信元 | |
| IP アドレス | ― | IP アドレスを入力します。　設定例　xxx.xxx.xxx.xxx |
| ネットマスク | [0]-32 | 0(0.0.0.0)～32(255.255.255.255) ネットマスクを選択します。 |
| TCP/UDP ポート | ― | TCP/UDP ポート番号を入力します。(0-65535) |
| 宛先 | IP パケット受け取り先 | |
| IP アドレス | ― | IP アドレスを入力します。　設定例　xxx.xxx.xxx.xxx |
| ネットマスク | [0]-32 | 0(0.0.0.0)～32(255.255.255.255) ネットマスクを選択します。 |
| TCP/UDP ポート | ― | TCP/UDP ポート番号を入力します。(0-65535) |
| プロトコル | [全て]<br>GRE | 全て／ICMP／IGMP／TCP／UDP／RSVP／OSPF／TCP/UDP／GRE 指定プロトコルを選択します。 |
| 適応する<br>タイミング | [入力] | 入力する IP パケットを指定します。 |
| | 出力 | 出力する IP パケットを指定します。 |
| 適応するポート | LAN<br>[PPPoE0] | LAN／[WAN]／[PPPoE0] 適応するポートを選択します。 |

**ご注意**

- フィルタールールをすべての IP アドレスに適用する場合は、IP アドレスとネットマスクを 0 にしてください。
- TCP/UDP ポートの範囲を割り当てる場合は最小と最大のポート番号を[-]ハイフンでつないで入力してください。
- フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合があります。

### 2.4.3.2 IP フィルターの削除

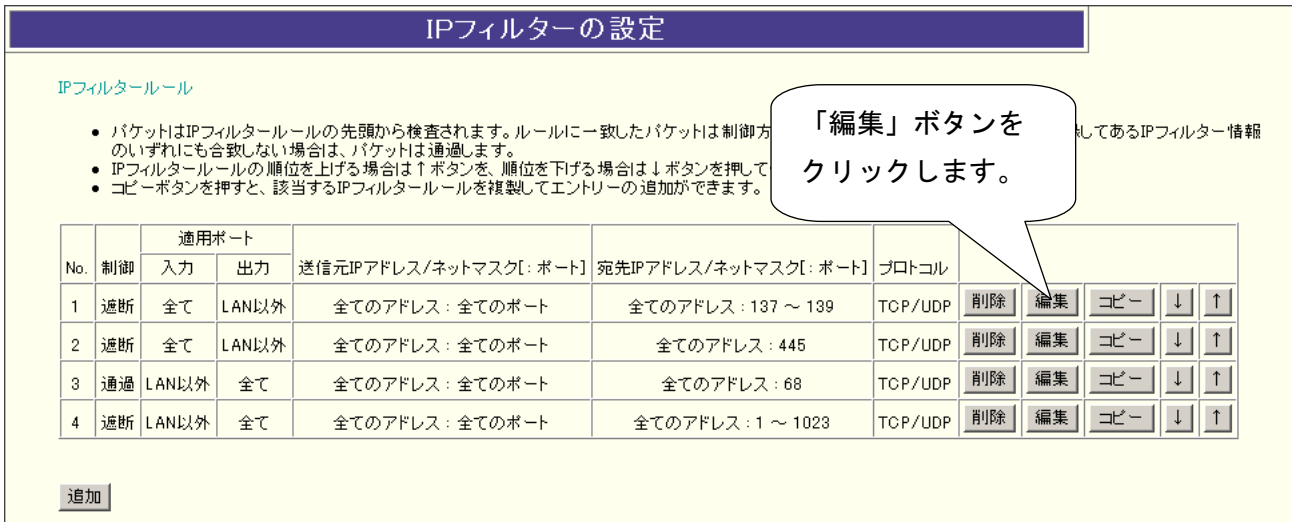
登録済みの IP フィルターを削除するには、削除する IP フィルターの設定の行にある「削除」ボタンをクリックします。


IPフィルターの設定
IPフィルタールール
パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過また
のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。
情報
「削除」ボタンをクリックします。
No. 制御 適用ポート 入力 出力 送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート] 宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート] プロトコル
1 遮断 全て LAN以外 全てのアドレス：全てのポート 全てのアドレス：137 ～ 139 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
2 遮断 全て LAN以外 全てのアドレス：全てのポート 全てのアドレス：445 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
3 通過 LAN以外 全て 全てのアドレス：全てのポート 全てのアドレス：68 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
4 遮断 LAN以外 全て 全てのアドレス：全てのポート 全てのアドレス：1 ～ 1023 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
追加

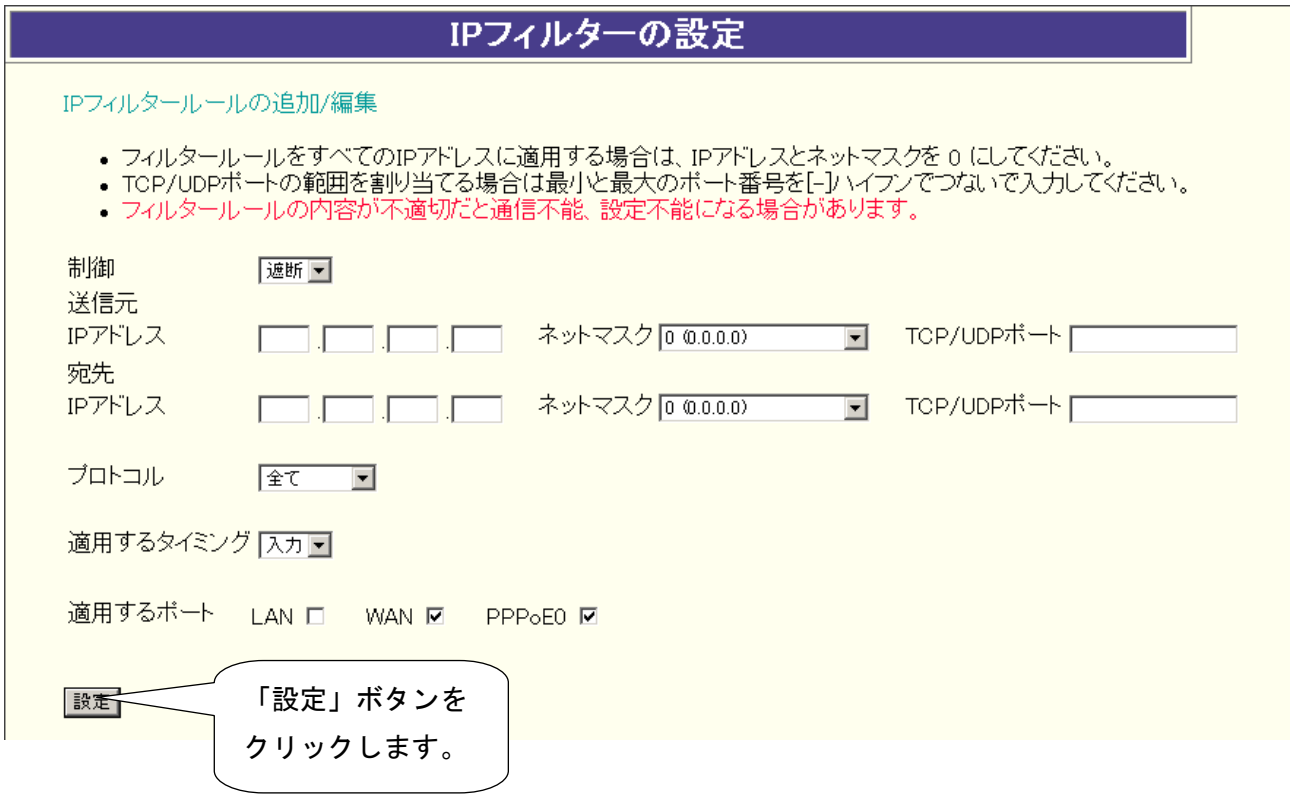
### 2.4.3.3 IP フィルターの編集

登録済みの IP フィルターを変更するには、変更する IP フィルターの設定の行にある「編集」ボタンをクリックします。

1. 「IP フィルタールール」の「編集」ボタンをクリックします。


IPフィルターの設定
IPフィルタールール
「編集」ボタンをクリックします。
No. 制御 適用ポート 入力 出力 送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート] 宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート] プロトコル
1 遮断 全て LAN以外 全てのアドレス：全てのポート 全てのアドレス：137 ～ 139 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
2 遮断 全て LAN以外 全てのアドレス：全てのポート 全てのアドレス：445 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
3 通過 LAN以外 全て 全てのアドレス：全てのポート 全てのアドレス：68 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
4 遮断 LAN以外 全て 全てのアドレス：全てのポート 全てのアドレス：1 ～ 1023 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
追加

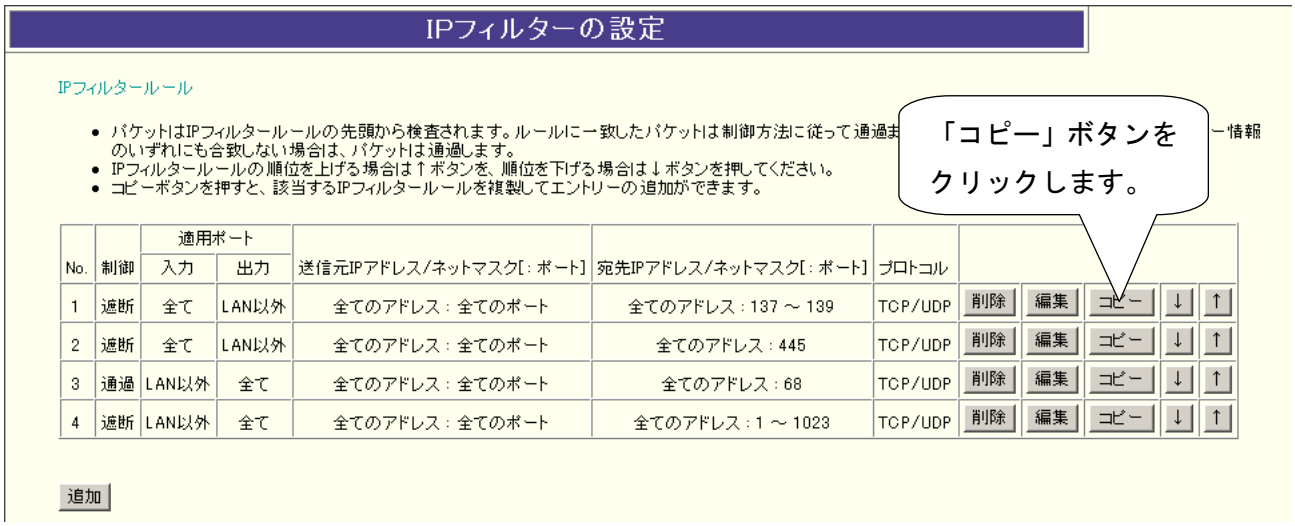
2. 「IP フィルタールールの追加／編集」画面が表示されます。
3. 「IP フィルタールールの追加／編集」画面で、以下の設定を行います。（設定項目の説明は、「2.4.3.1 IP フィルターの追加」をご参照ください。）
4. 編集が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



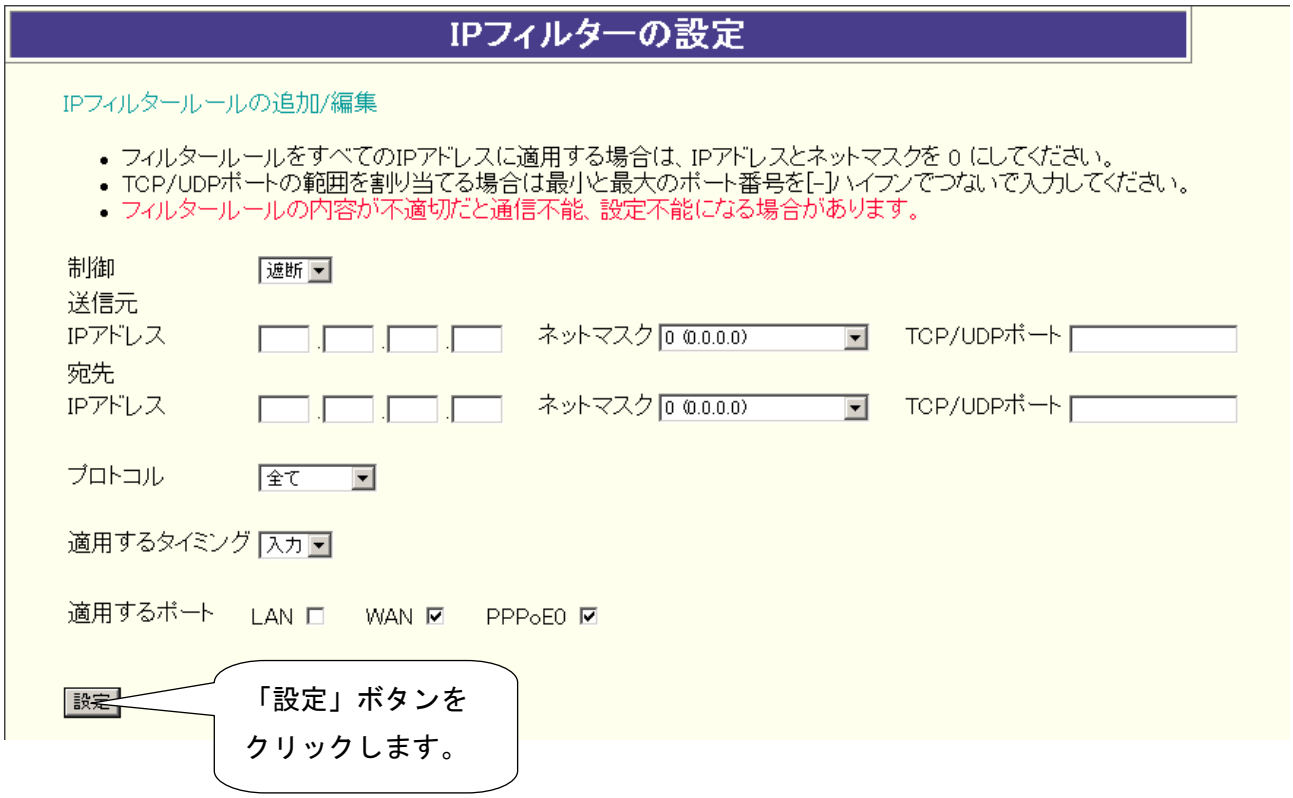
### 2.4.3.4 IP フィルターのコピー

該当する IP フィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。コピーする IP フィルターの設定の行にある「コピー」ボタンをクリックします。

1. 「IP フィルタールール」の「コピー」ボタンをクリックします。


IPフィルターの設定
IPフィルタールール
パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過
のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。
「コピー」ボタンをクリックします。
No. 制御 適用ポート 入力 出力 送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート] 宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート] プロトコル
1 遮断 全て LAN以外 全てのアドレス：全てのポート 全てのアドレス：137 ～ 139 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
2 遮断 全て LAN以外 全てのアドレス：全てのポート 全てのアドレス：445 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
3 通過 LAN以外 全て 全てのアドレス：全てのポート 全てのアドレス：68 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
4 遮断 LAN以外 全て 全てのアドレス：全てのポート 全てのアドレス：1 ～ 1023 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
追加

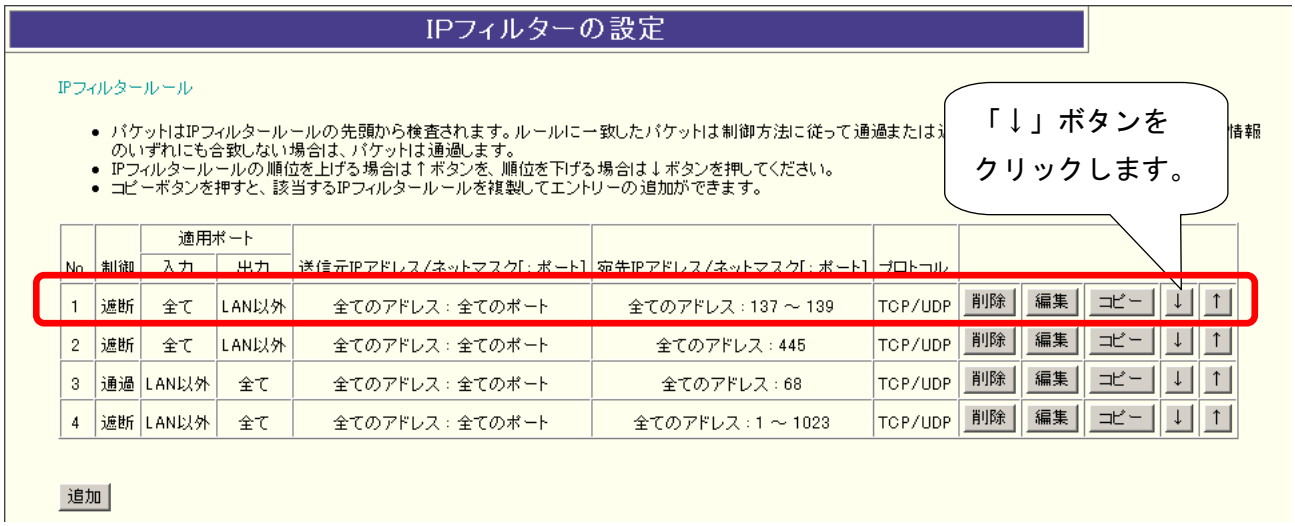
2. 「IP フィルタールールの追加／編集」画面が表示されます。
3. 「IP フィルタールールの追加／編集」画面で、以下の設定を行います。（設定項目の説明は、「2.4.3.1 IP フィルターの追加」をご参照ください。）
4. 編集が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



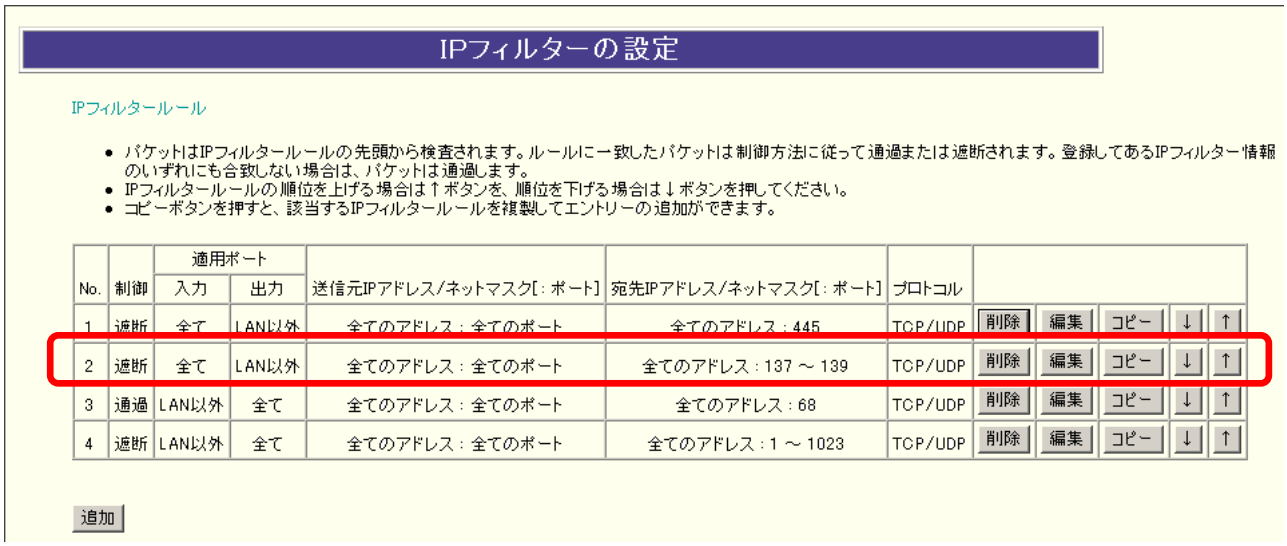
### 2.4.3.5 IP フィルタールールの順位を下げる

IP フィルタールールの順位を下げる場合は↓ボタンを押します。順位を下げる IP フィルターの設定の行にある「↓」ボタンをクリックします。

1. 「IP フィルタールール」の「↓」ボタンをクリックします。




2. 「IP フィルタールール」が移動している事を確認します。



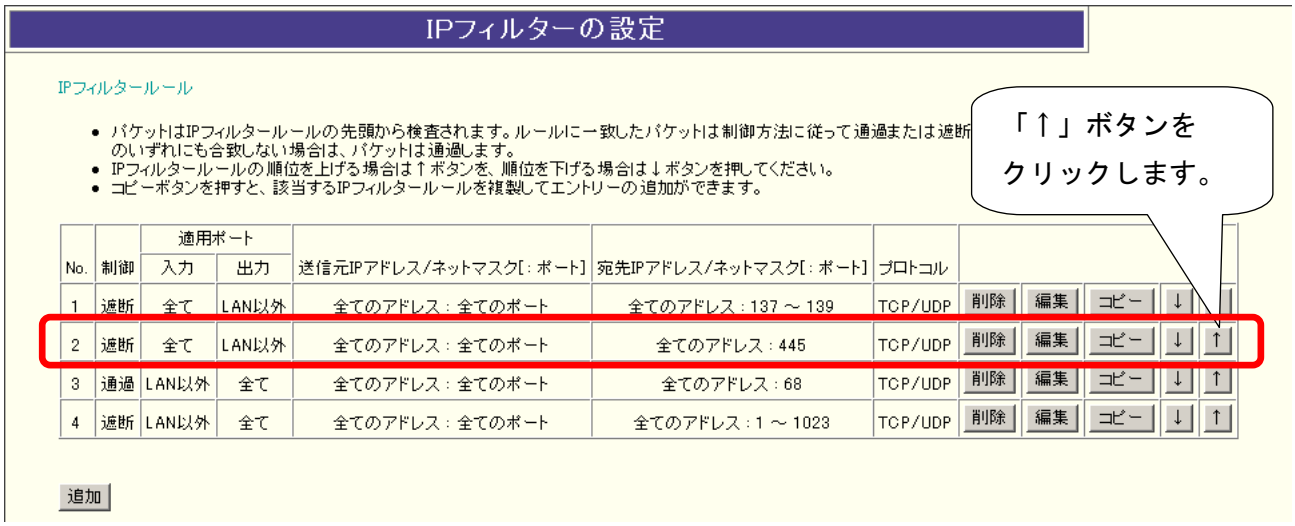

**ご注意**

- パケットは IP フィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してある IP フィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。

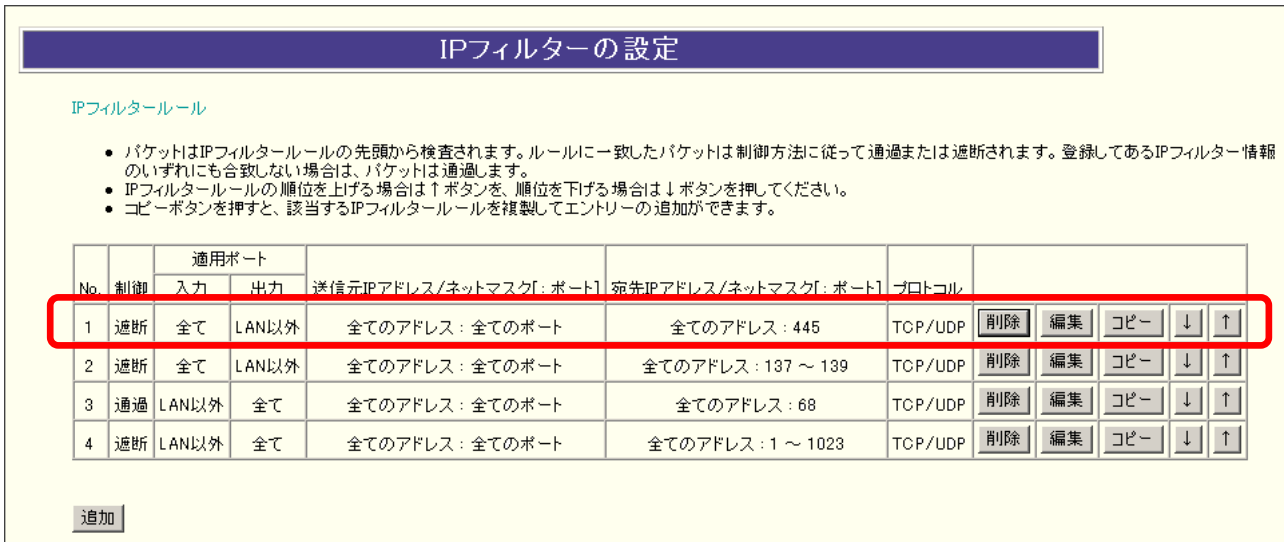
### 2.4.3.6 IP フィルターの順位を上げる

IP フィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を上げる IP フィルターの設定の行にある「↑」ボタンをクリックします。

1.「IP フィルタールール」の「↑」ボタンをクリックします。




2.「IP フィルタールール」が移動している事を確認します。



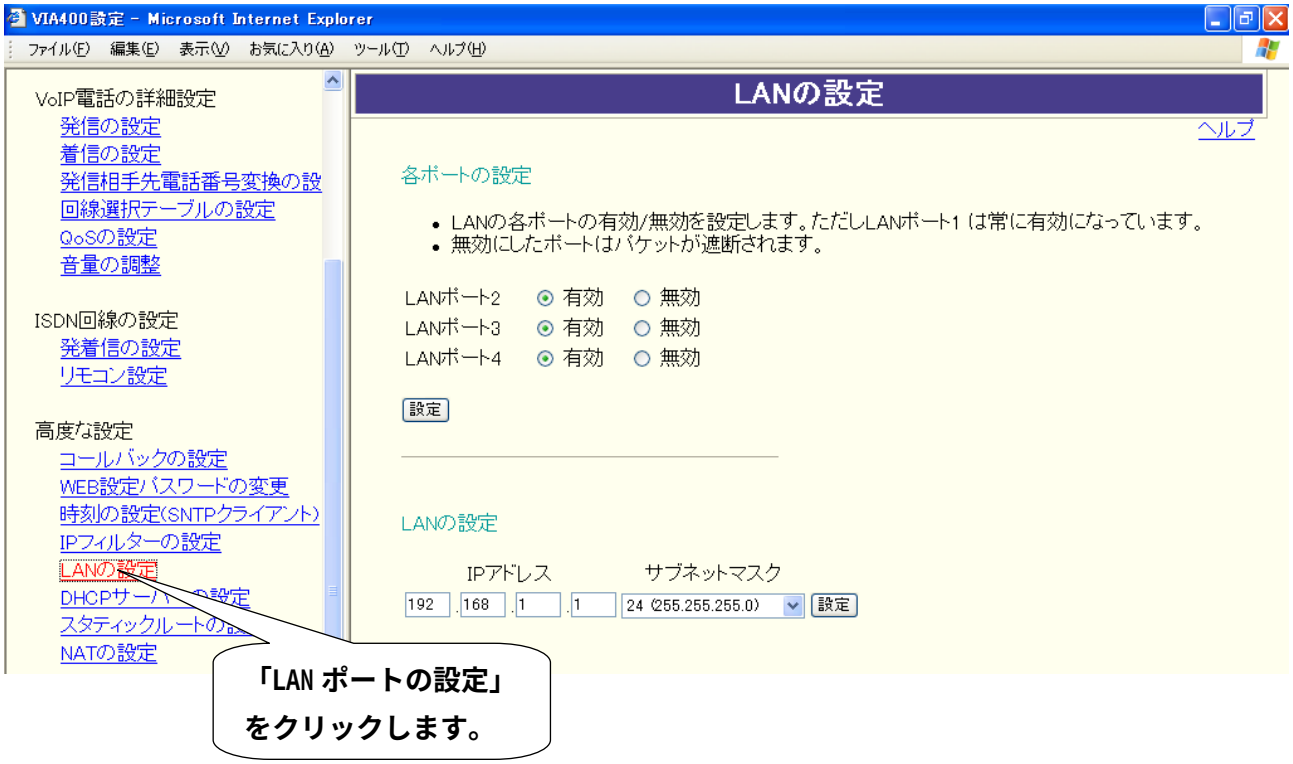

**ご注意**

- パケットは IP フィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してある IP フィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。

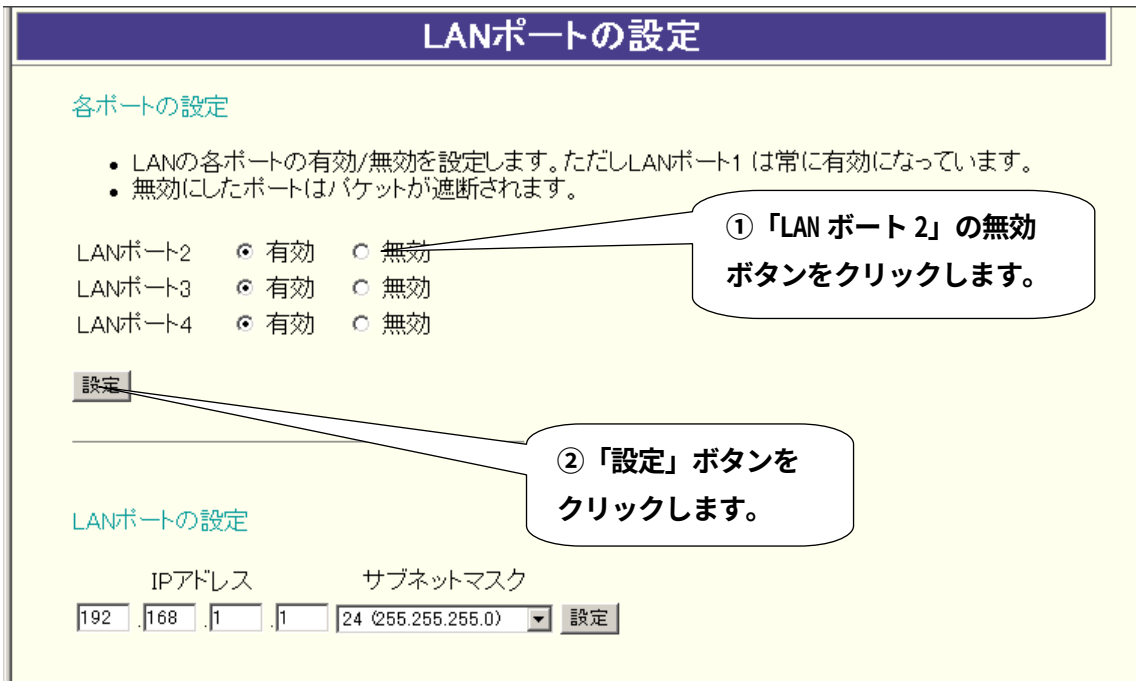
### 2.4.4 LAN の設定

LAN2～4 まで有効／無効の設定をします。

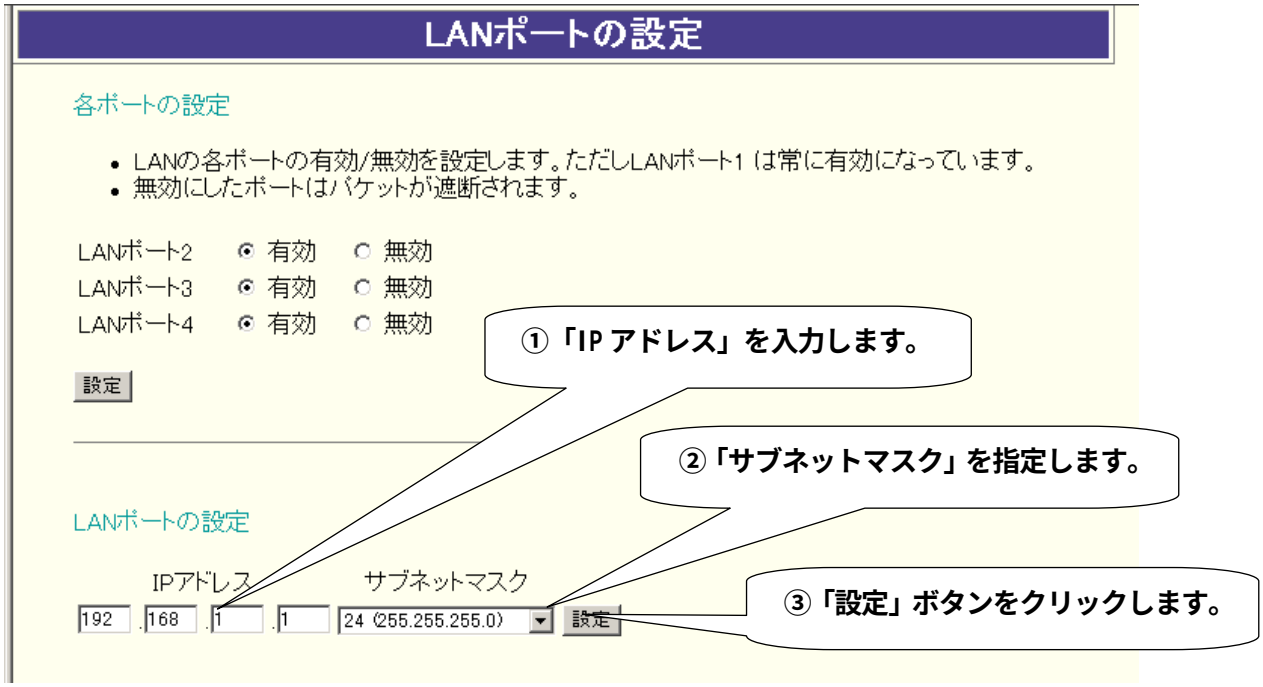
1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「LAN の設定」をクリックします。
2. 「LAN の設定」画面が表示されます。




3. LAN ポートを「無効」に設定するには、「各ポートの設定」で LAN ポート 2～4 を指定します。
   設定例として、「LAN ポート 2」を無効にして「設定」ボタンをクリックします。



4. LAN ポート側の IP アドレスを設定するには、「LAN ポートの設定」で IP アドレスを入力しサブネットマスクを指定します。




5. 設定を有効にするために再起動してください。

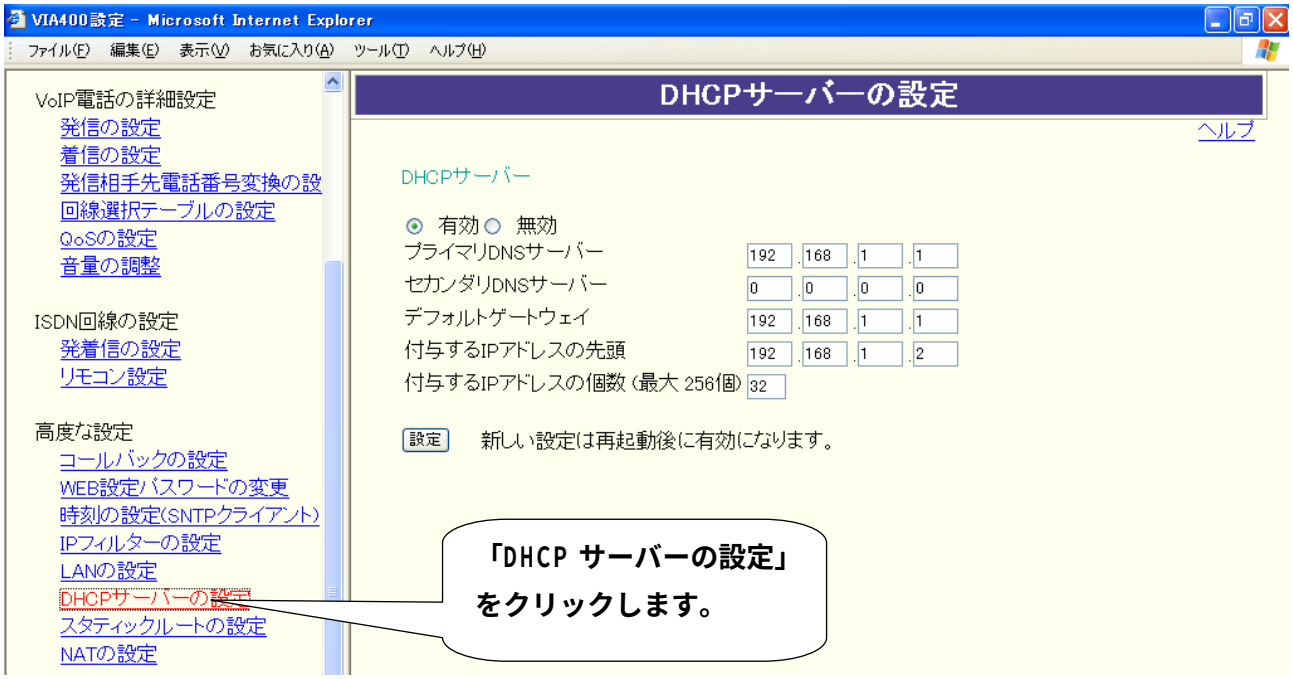
**ご注意**

- LAN ポート１は常に有効になっています。無効にはできません。
- 無効にしたポートはパケットが遮断されます。

### 2.4.5 DHCP サーバーの設定

本機を DHCP サーバーと DNS サーバーとして機能させるかを設定します。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「DHCP サーバーの設定」をクリックします。
2. 「DHCP サーバーの設定」画面が表示されます。



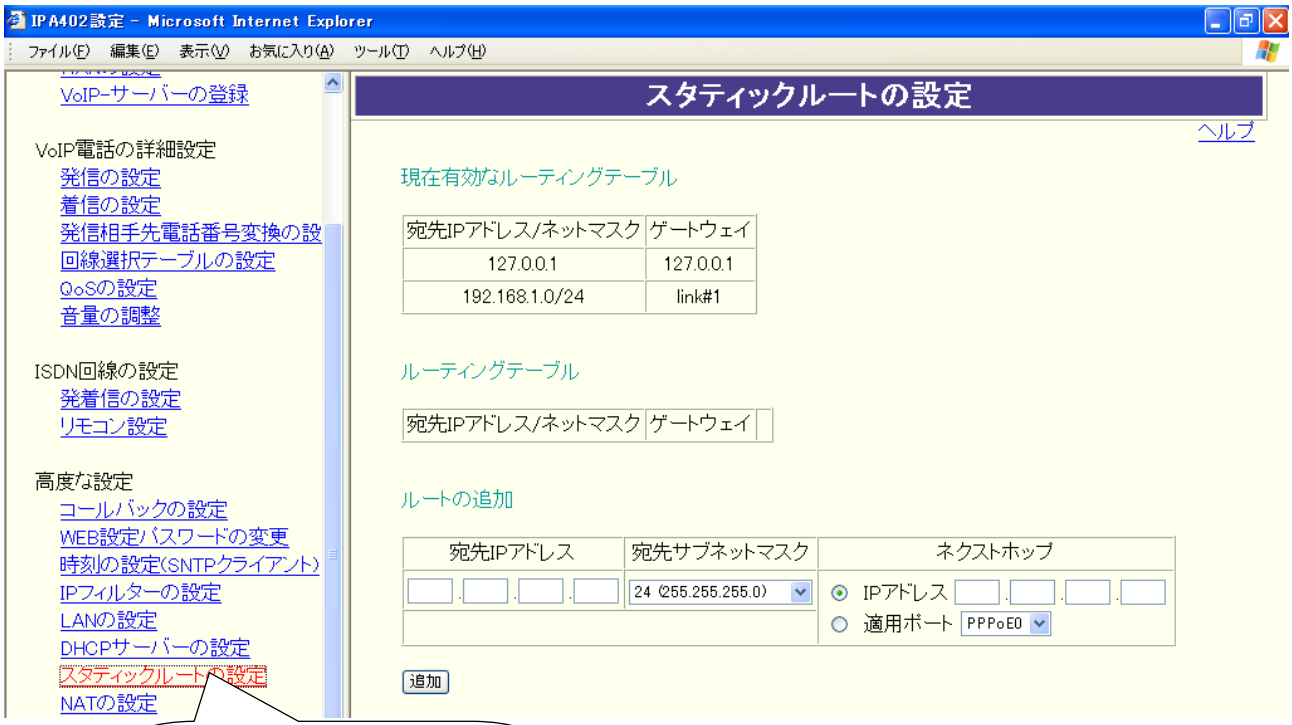

3. 「DHCP サーバーの設定」画面で、以下の設定を行います。
4. 設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

5. 設定を有効にするために再起動してください。

### 2.4.6 スタティックルートの設定

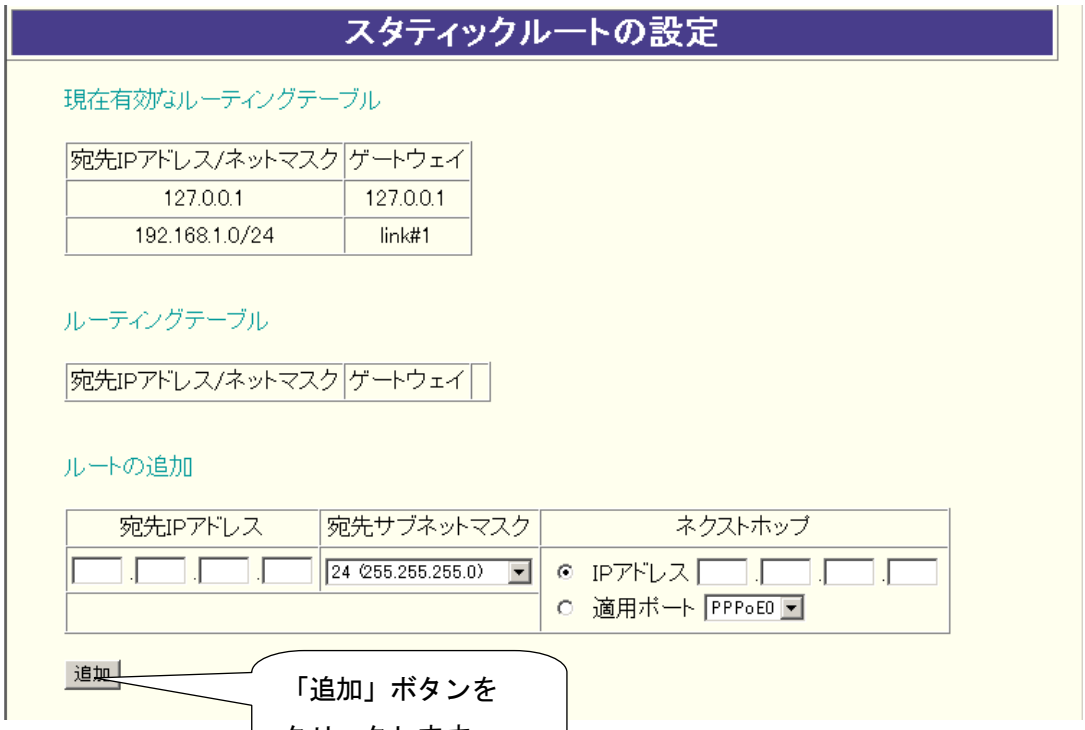
上位接続先ルータへ固定経路を設定します。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「スタティックルートの設定」をクリックします。
2. 「スタティックルートの設定」画面が表示されます。




「スタティックルートの設定」をクリックします。

3. 「スタティックルートの設定」画面で、以下の設定を行います。
4. 「ルートの追加」設定が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。

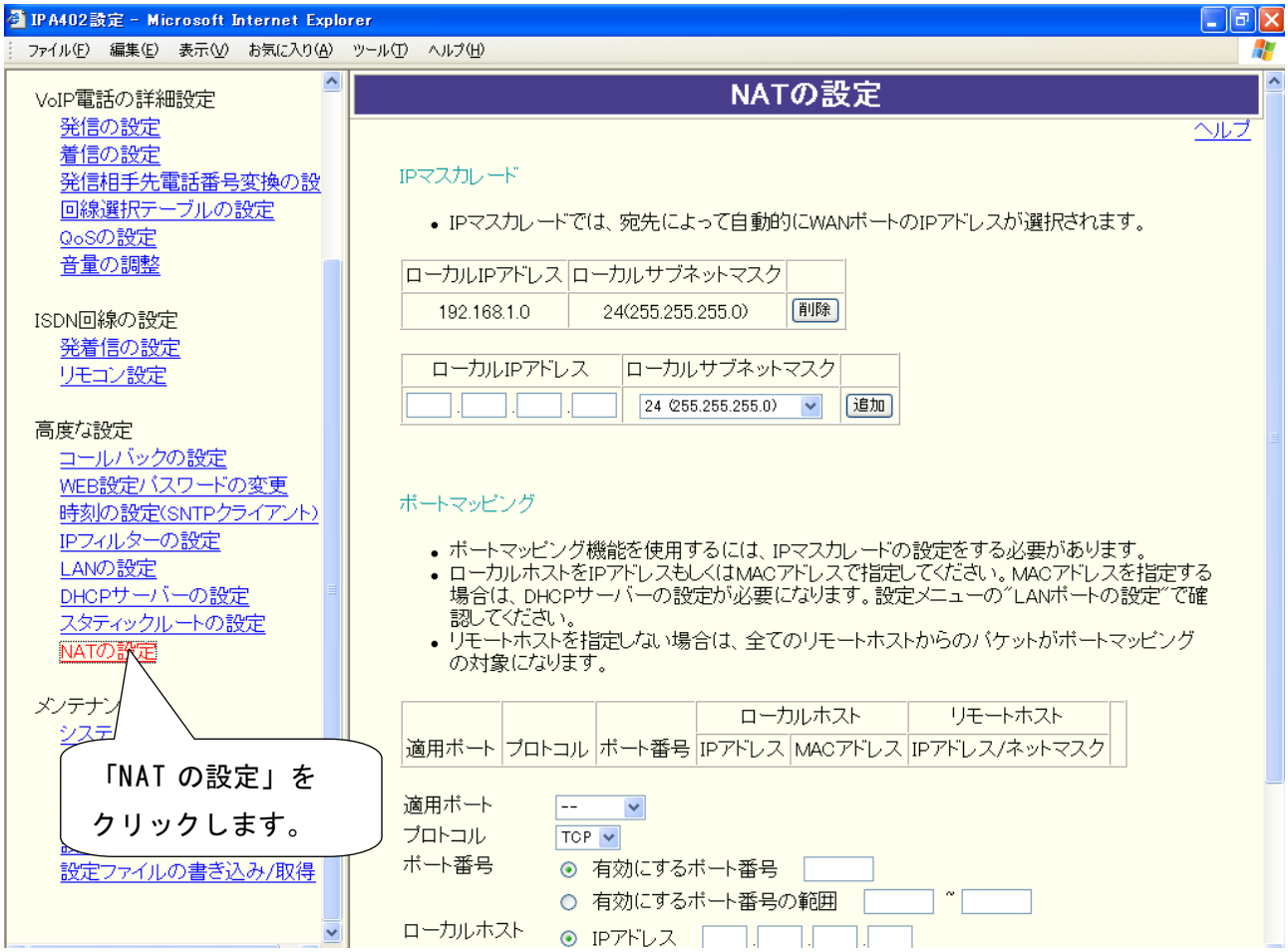



「追加」ボタンをクリックします。

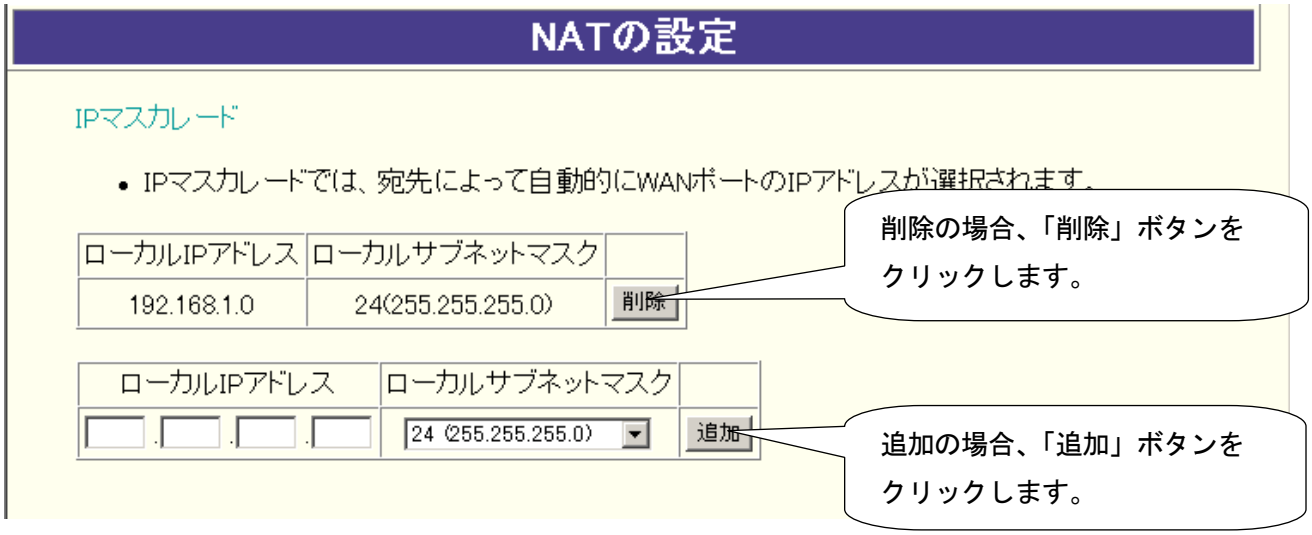
### 2.4.7 NAT の設定（IP マスカレード・ポートマッピング）

NAT の設定します。

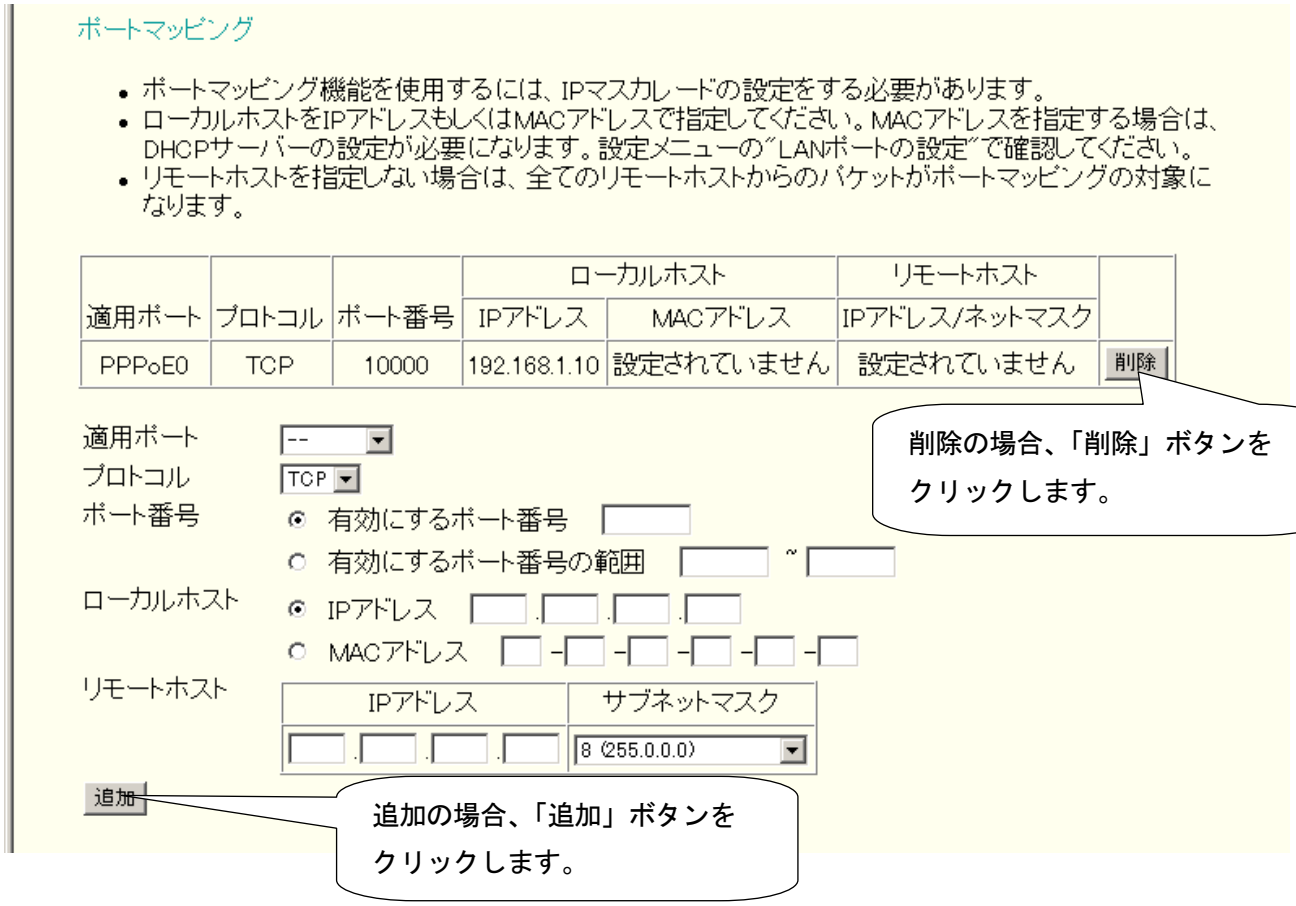
1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「NAT の設定」をクリックします。
2. 「NAT の設定」画面が表示されます。




5. 「IP マスカレード」画面で、以下の設定を行います。
6. 「IP マスカレード」設定が完了したら、「削除」又は「追加」ボタンをクリックします。



7. ポートマッピングを設定するには、「NAT の設定」の「ポートマッピング」画面で設定を行います。
8. 新たに、特定のポートマッピングを追加するには以下の設定を行います。設定が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。
9. 登録済みのポートマッピングを削除するには、削除するポートマッピングの設定の行にある「削除」ボタンをクリックします。




□ が初期値です。

| 項　目 | 設　定 | 内　容 |
|---|---|---|
| 適応ポート | □--<br>WAN<br>PPPoE0 | --／WAN／PPPoE0 に適応するポートを選択します。 |
| プロトコル | □TCP<br>UDP | TCP／UDP 指定プロトコルを選択します。 |
| **ポート番号（ポート番号かポート番号の範囲を指定が可能です。）** | | |
| □ポート番号 | － | ポート番号を入力します。(0-65535) |
| ポート番号の範囲 | － | ポート番号の範囲を入力します。(0～65535) |
| **ローカルホスト（IP アドレスか MAC アドレスを指定が可能です。）** | | |
| □IP アドレス | － | IP アドレスを入力します。設定例　xxx.xxx.xxx.xxx |
| MAC アドレス | － | MAC アドレスを入力します。設定例　xx-xx-xx-xx-xx-xx |
| **リモートホスト** | | |
| IP アドレス | － | IP アドレスを入力します。設定例　xxx.xxx.xxx.xxx |
| サブネットマスク | □8-32 | 8(255.0.0.0)～32(255.255.255.255) サブネットマスクを選択します。 |

## 2.5 メンテナンス

取扱説明書に記載していない設定項目は下記項目があります。

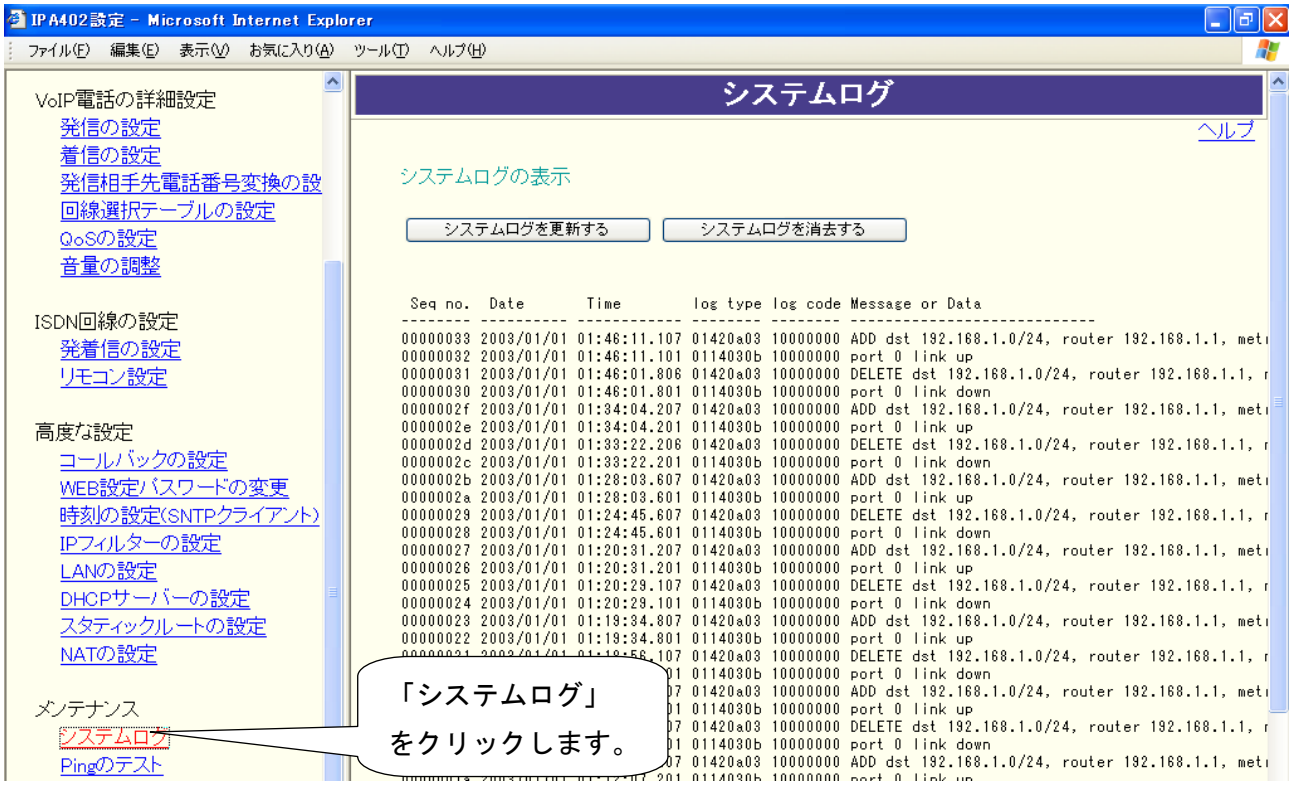
- システムログ
- Ping のテスト
- オートダウンロード
- 装置の再起動
- 設定の初期化
- 設定ファイルの書き込み／取得
- IP ダイレクト通話機能

各設定項目の詳細は次項をご参照ください。

### 2.5.1 システムログ

システムログを表示します。ログ表示は新しいものから順に表示します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「システムログ」をクリックします。
2. 「システムログ」画面が表示されます。
3. 最新のシステムログを参照するには、「システムログを更新する」をクリックします。
4. システムログを消去するには、「システムログを消去する」をクリックします。



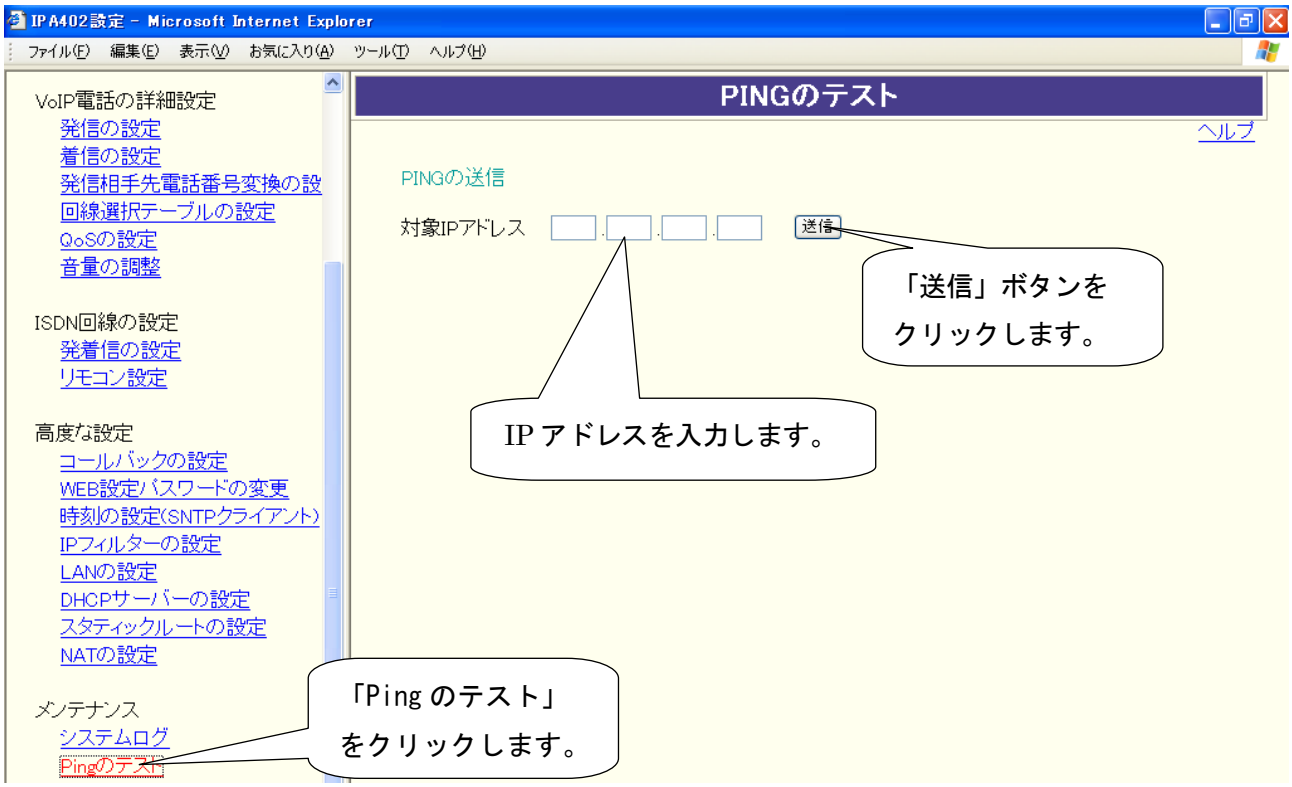

**ご注意**

- 本機を再起動または電源を切断しますとシステムログは消去されます。

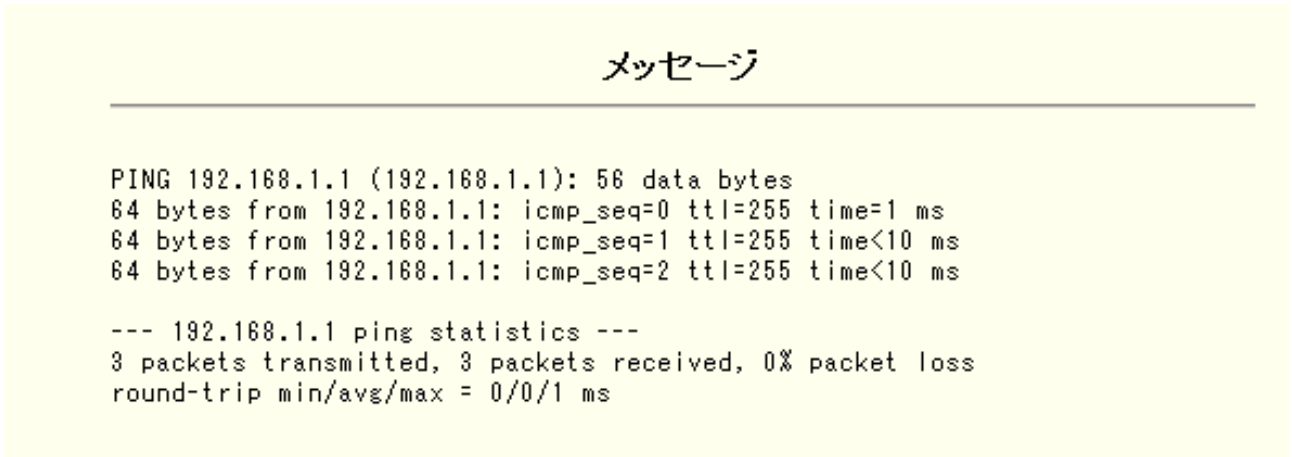
### 2.5.2 Ping のテスト

対象 IP アドレスへの ICMP ECHO-REQUEST の送信をします。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「Ping のテスト」をクリックします。
2. 「Ping のテスト」画面が表示されます。
3. IP アドレスを入力して、「送信」ボタンをクリックします。



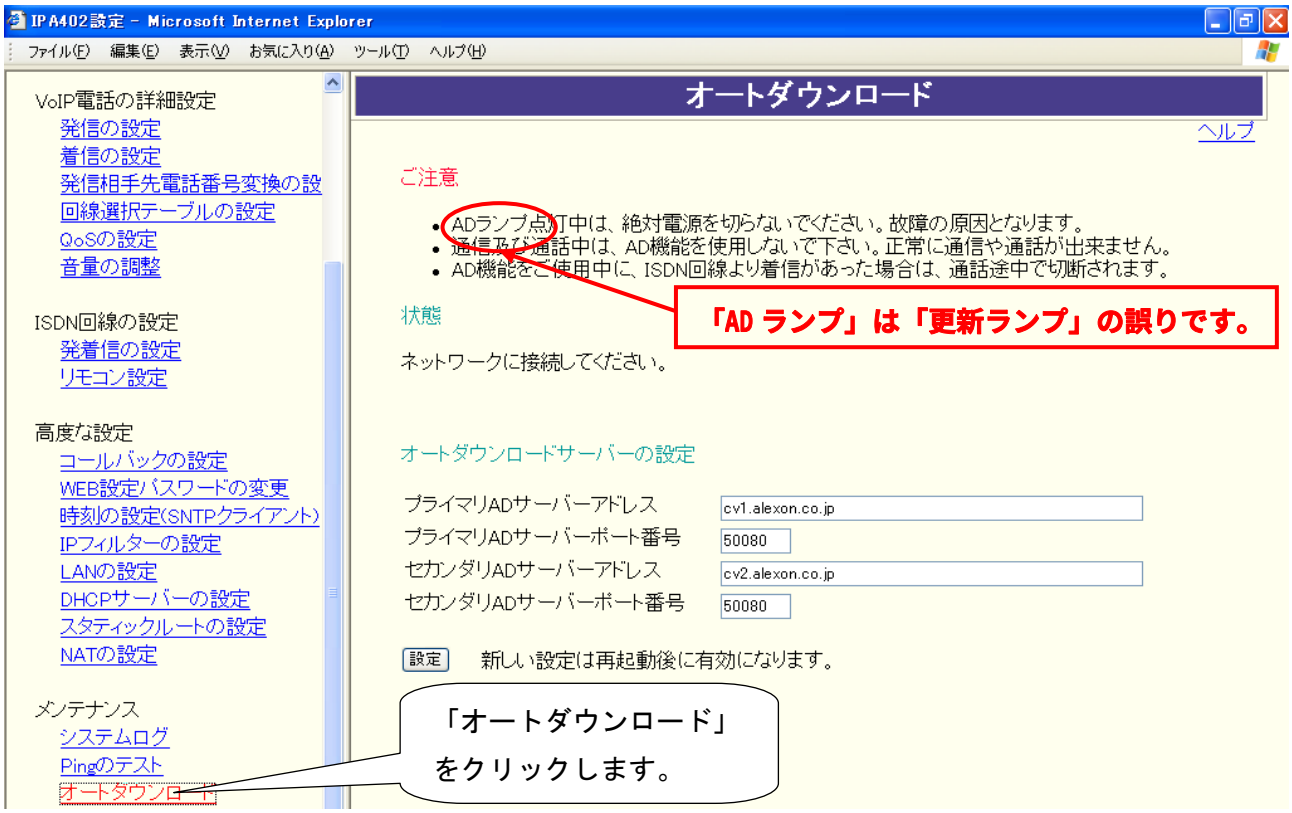

4. Ping 送信の結果メッセージが表示されます。



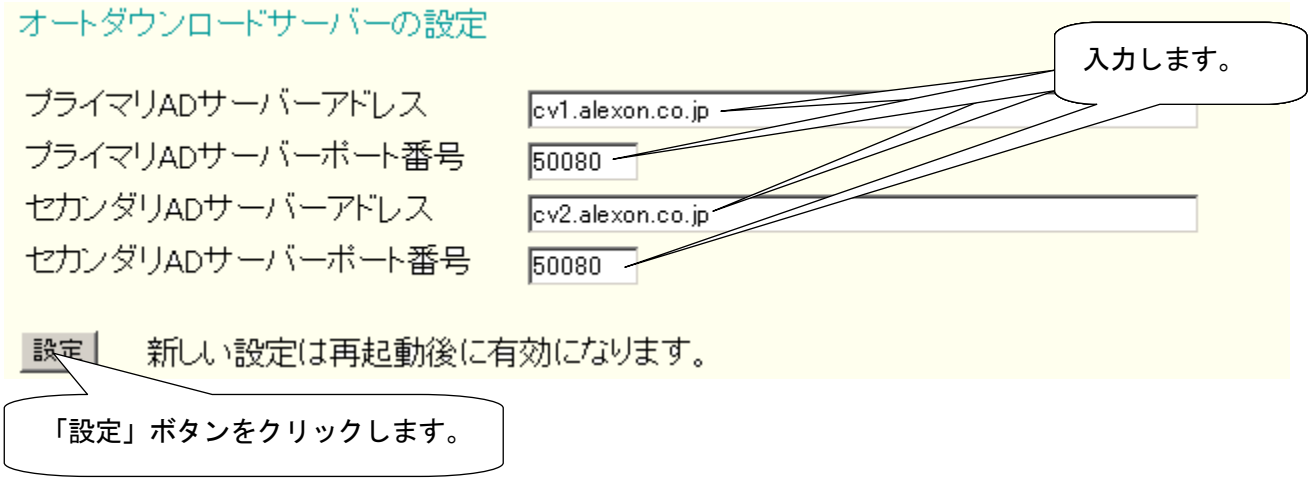
### 2.5.3 オートダウンロード

オートダウンロードサーバーの設定します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「オートダウンロード」をクリックします。
2. 「オートダウンロード」画面が表示されます。




3. オートダウンロードサーバーの設定を入力して、「設定」ボタンをクリックします。




4. 設定を有効にするために再起動してください。

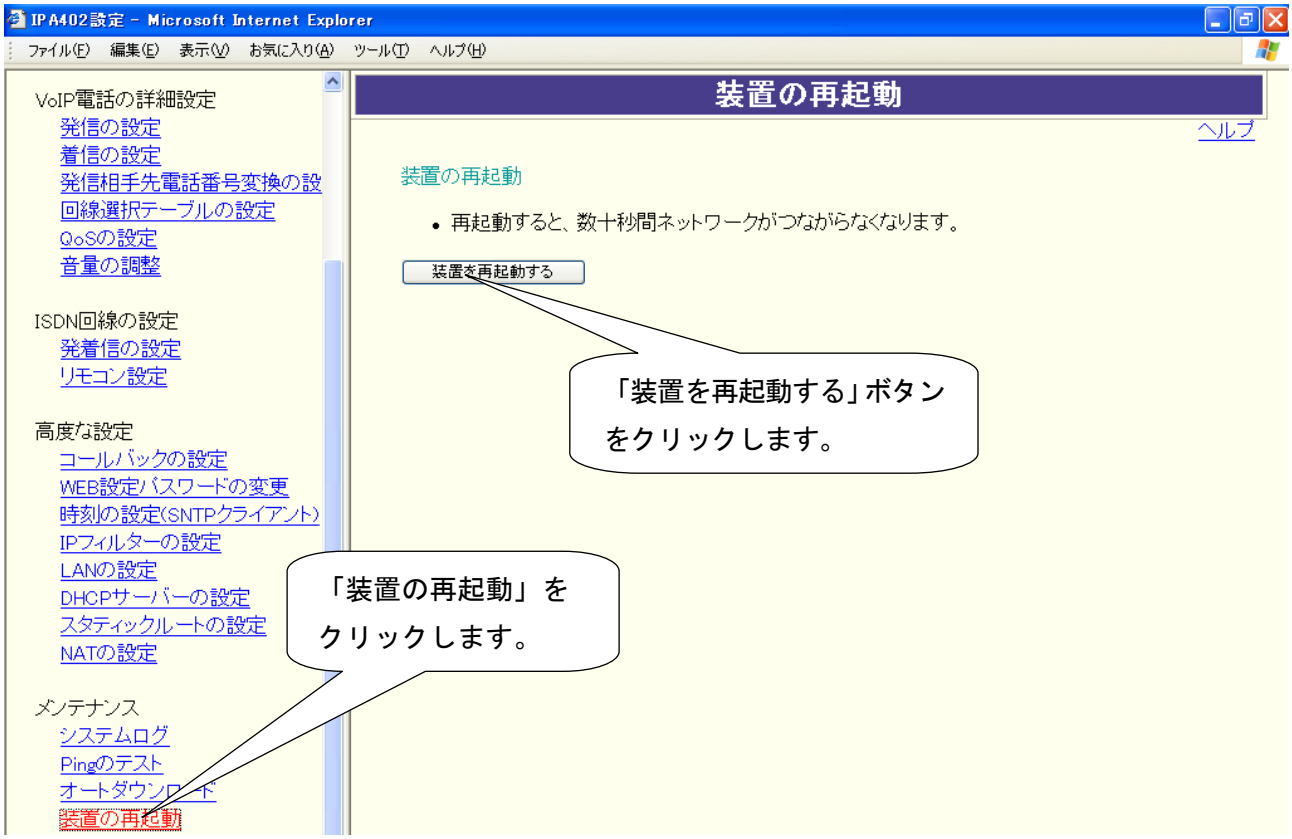
**ご注意**

- 弊社の AD サーバーに変更が発生した時のみ設定の変更をお願いします。
- 更新ランプ点灯中は、絶対電源を切らないでください。故障の原因となります。
- 通信及び通話中は、更新機能を使用しないで下さい。正常に通信や通話が出来ません。
- 更新機能をご使用中に、ISDN 回線より着信があった場合は、通話途中で切断されます。

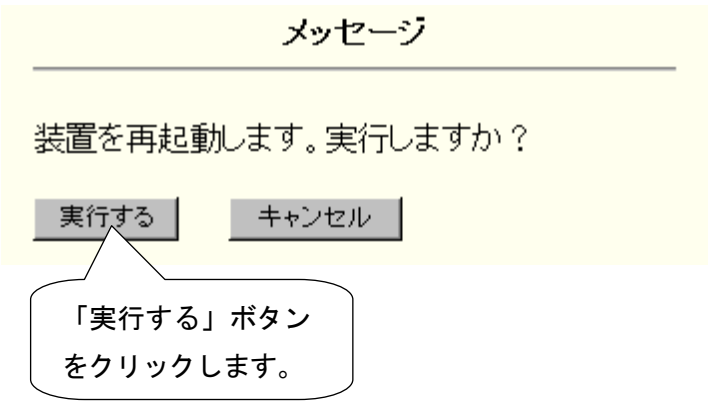
### 2.5.4 装置の再起動

本機の設定を有効にするために再起動します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「装置の再起動」をクリックします。
2. 「装置の再起動」画面が表示されます。
3. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。




4. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。




5. 本機の設定が有効になります。

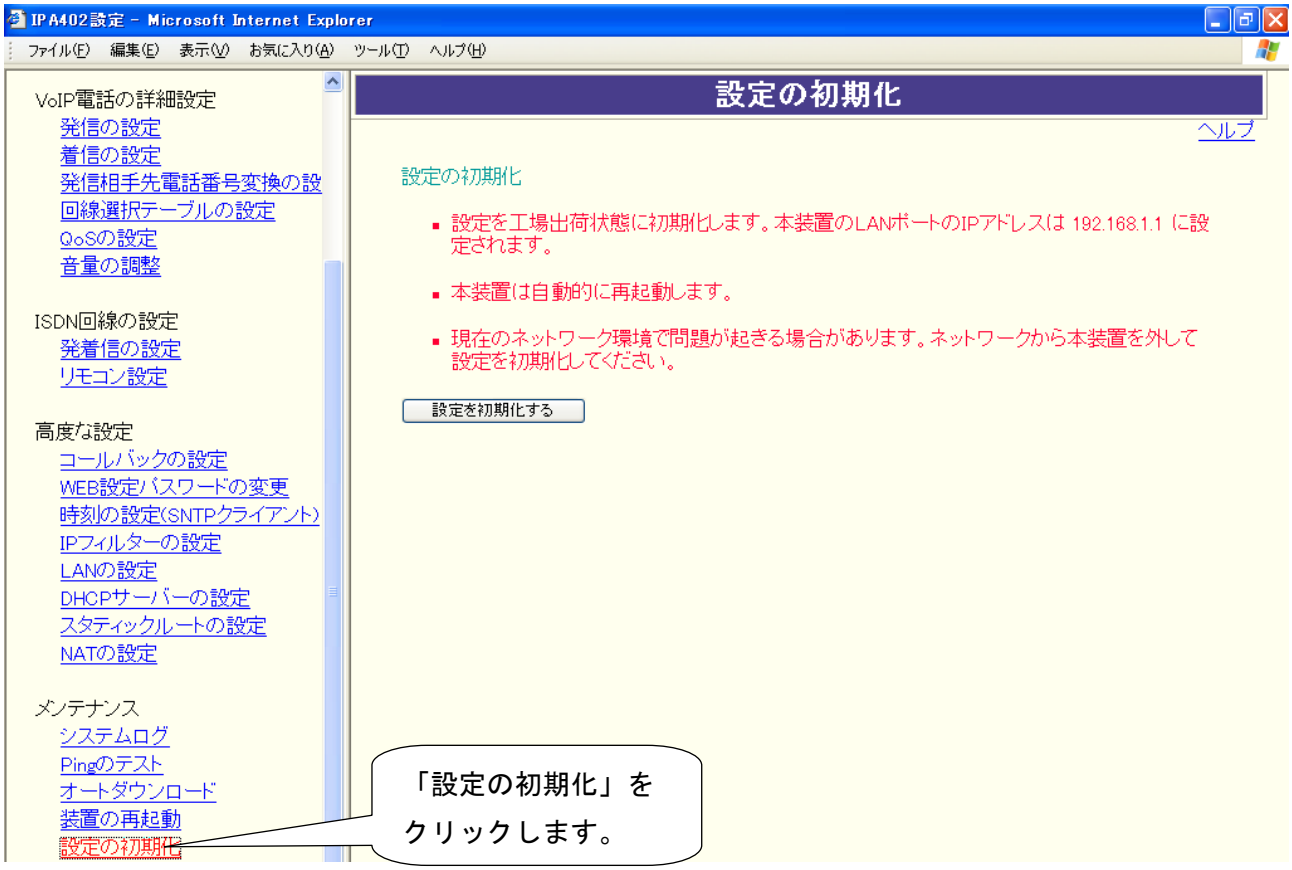
**ご注意**

- 再起動しますと、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。
- ステータスランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能と Web 設定は動作しません。

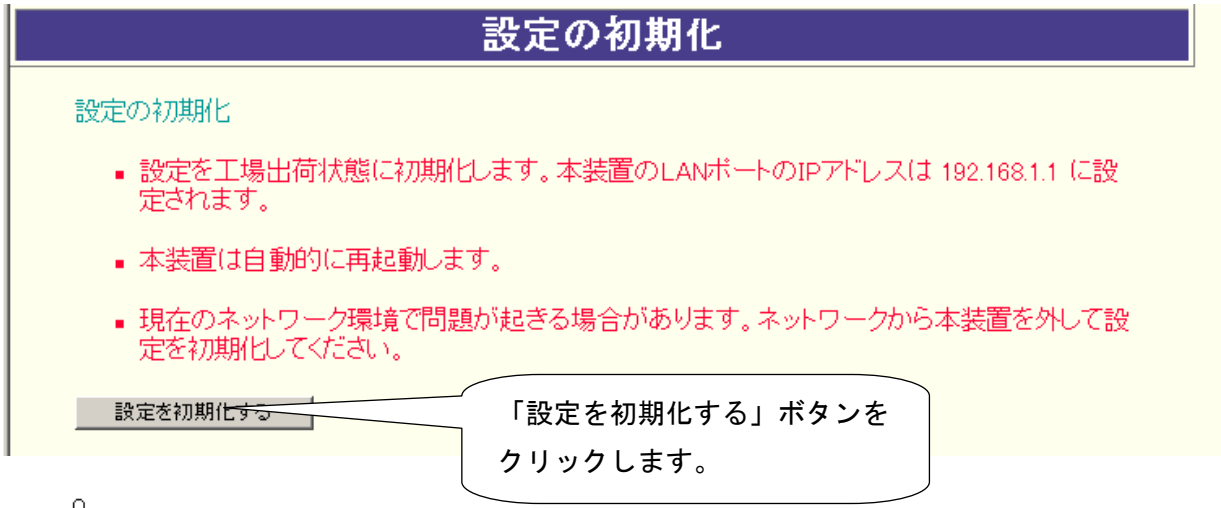
### 2.5.5 設定の初期化

本機の設定を工場出荷状態に初期化します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「設定の初期化」ボタンをクリックします。
2. 「設定の初期化」画面が表示されます。




3. 「設定を初期化する」ボタンをクリックします。



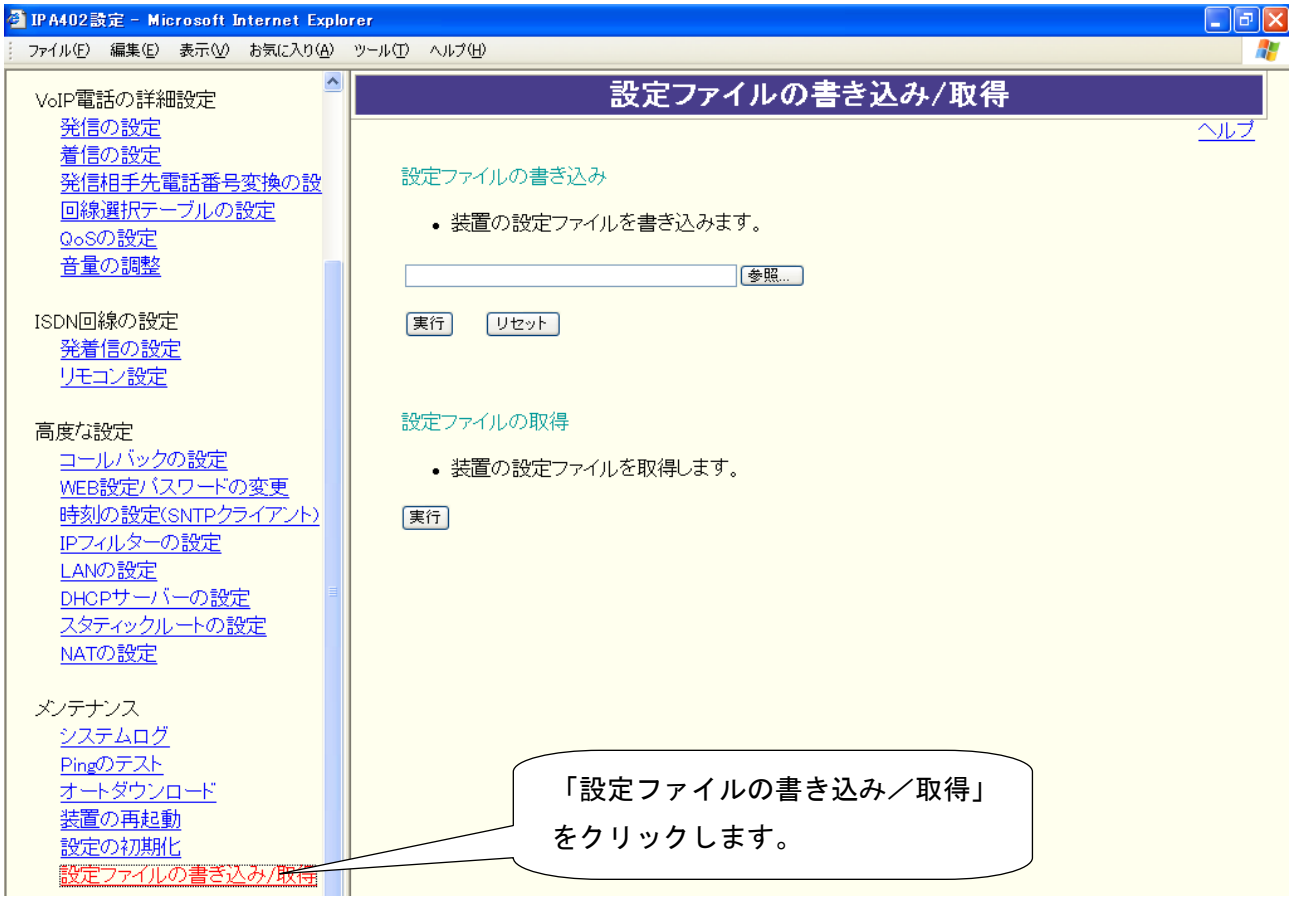

**ご注意**

- 初期化しますと LAN ポートの IP アドレスは 192.168.1.1 に設定されます。
- 現在のネットワーク環境で問題が起きる場合が有ります。ネットワークから本装置を外して設定を初期化してください。
- ステータスランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能と Web 設定は動作しません。

### 2.5.6 設定ファイルの書き込み／取得

本機の設定情報をファイルに書き込んだり、その設定ファイルを読み込んで本機に設定できます。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「設定ファイルの書き込み／取得」をクリックします。
2. 「設定ファイルの書き込み／取得」画面が表示されます。




**ご注意**

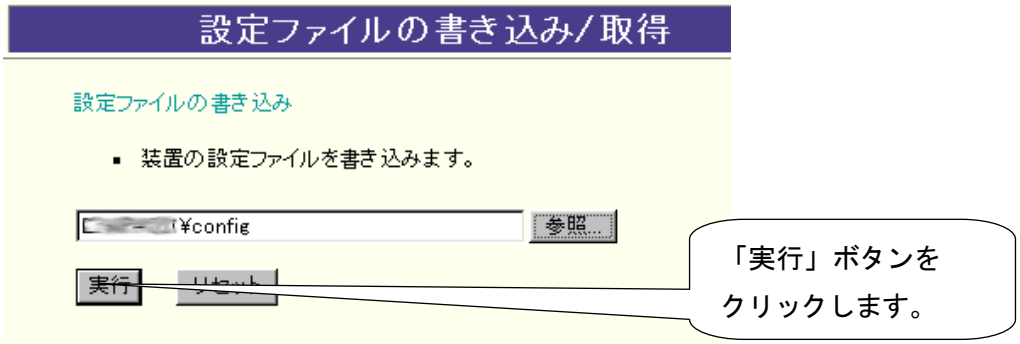
- **設定ファイルの書き込みで更新されない設定が御座います。下記設定画面は必ず全て Web 設定で再設定を御願いします。**
  - **「VoIP 電話サービスの設定」→「VoIP サーバーの登録」→「VoIP 電話番号」**
  - **「VoIP 電話の詳細設定」→「着信の設定」**
  - **「ISDN 回線の設定」→「発着信の設定」**
  - **「ISDN 回線の設定」→「リモコン設定」**
  - **「高度な設定」→「コールバックの設定」**

### 2.5.6.1 設定ファイルの書き込み

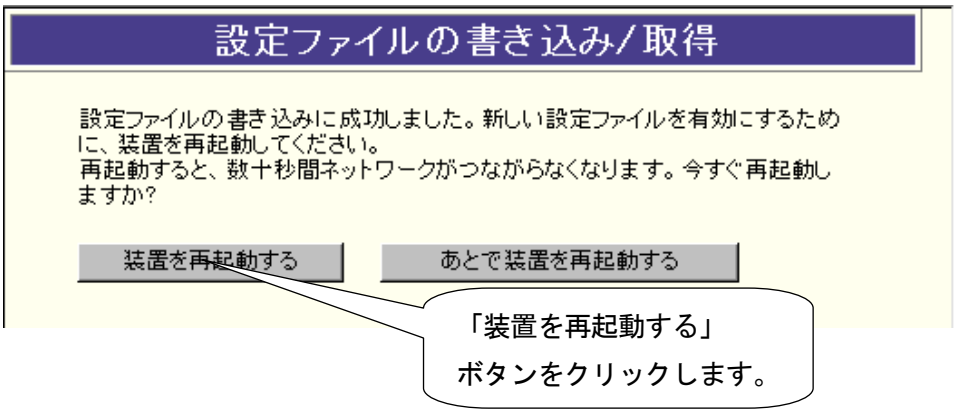
保存した設定情報を本機にアップロードして設定するこができます。

1. 「参照」をクリックします。
2. 設定ファイル（例：config）を選択して、「開く」ボタンをクリックします。

3. 「設定ファイルの書き込み／取得」画面に戻りますので、「実行」ボタンをクリックします。




4. 下記画面に変わりますので、「装置を再起動する」ボタンをクリックします。



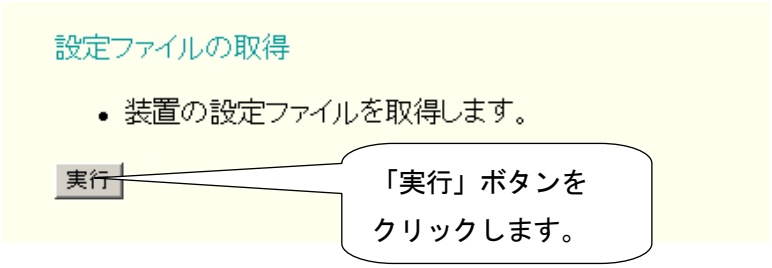

**ご注意**

- 再起動しますと、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。
- ステータスランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能と Web 設定は動作しません。

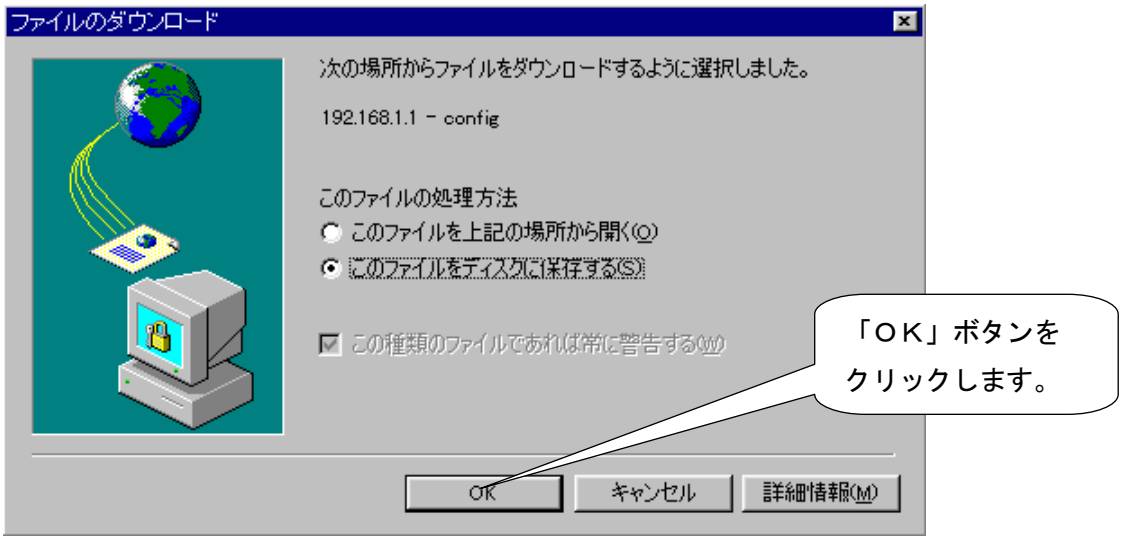
### 2.5.6.2 設定ファイルの取得

本機の設定情報をファイルにダウンロードして保存することができます。

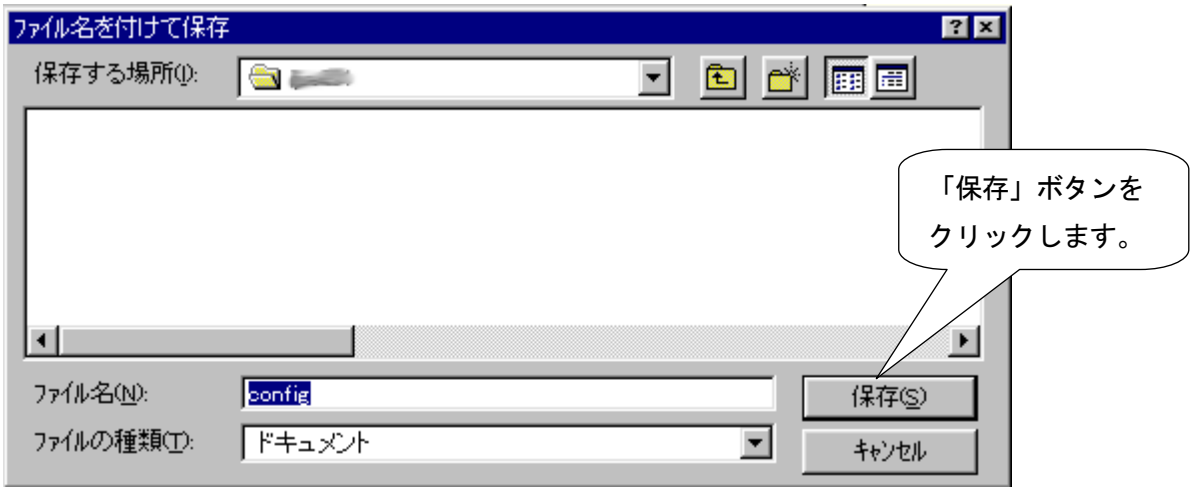
1. 「設定ファイルの取得」の「実行」ボタンをクリックします。




2. 下記画面が表示されますので、「ＯＫ」ボタンをクリックします。




3. ファイルを保存するフォルダへ移動して、「保存」ボタンをクリックします。




4. これで設定ファイルは指定のフォルダに保存します。

お問い合わせ先　サポートセンター　　伊丹　☎072-780-1101
受付時間：月曜～金曜　　9:20～12:00・13:00～17:00
（祝祭日、年末年始、弊社休日を除く）
http://www.alexon.co.jp/

本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは、堅くお断りします。
本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

2005.10.03



TIM2088A